

# 同窓会報



## 鳥羽商船同窓会

〒517-8501  
三重県鳥羽市池上町1番1号  
TEL (0599) 25-8045  
FAX (0599) 25-8128  
携帯電話 090-7612-2979  
振替口座番号 00850-6-846



ポンツーンから眺める池の浦

### ◆ 目次 ◆

同窓会長・学校長挨拶 .....	2	NPO法人故郷の海を愛する会 .....	19
特集「我等! 鳥羽商船」前編 .....	4	学校だより .....	21
令和元年度本部会務報告 .....	13	会員の投稿 .....	23
令和2年度本部会務計画 .....	13	特集「我等! 鳥羽商船」後編 .....	24
令和元年度会計報告 .....	14	船歌集製作協力お願い .....	29
令和2年度予算 .....	14	コロナ禍の母校を支援しよう!! .....	32
令和2年度同窓会役員理事 .....	15	会員の異動等 .....	34
会則の改定 .....	15	新入会員 .....	35
事務局報告 .....	16	寄付金・会費納入一覧 .....	36
支部だより .....	16		

# 同窓会長・学校長挨拶

## 創立140年そして 150年に向けて

同窓会会長 **菅沼 延之**  
S48N(88期)



本年2月頃から影響が出始めたコロナショックにより、我が国のみならず世界中が大混乱に陥りました。一刻も早いワクチンの完成が待たれる処ですが、全世界に供給するにはかなりの時間がかかる為、果たして来年に延期された東京オリンピックが無事開催出来るか気になるところです。

自粛ムードの中、同窓会活動にも多大な支障があり、6月東京で開催される総会は中止になりましたが理事会はメール会議を開催し全議案を承認いただきありがとうございました。

年に一度の総会で皆様にお会いできなかったことは誠に残念でありましたが来年6月の鳥羽での総会に皆様にお会いできることを楽しみにしています。

来年は校祖・近藤真琴先生が故郷鳥羽の地に商船学校を建学して140年の節目に当たります。この140年の間、母校は色々な社会情勢に対応して存続できましたのは、ひとえにそれぞれの年代の教職員、在校生そして卒業生が三位一体となり努力精進して参りました賜物であります。

来年6月5日(土)に鳥羽において創立140年の祝賀を同窓会が主催して執り行うべく、現在、実行委員会を立ち上げ詳細日程、記念事業を詰めています。又、開催に必要な寄付金もたくさんの方々から頂き続けており、途中ではありますが心より御礼申し上げます。

さて、同窓会の先輩、後輩の皆様と同窓会長として知っていただきたいことがあります。

私は従前から在校生、卒業生は母校が心の本籍に当たると言い続けて参りました。そんな中、本校先輩であり私の会社の顧問弁護士でもあった角谷一成さん(S43年・N卒・残念な事に本年1月ご逝去)から母校の創立年の疑問を10年以上前から提起されていました。それは私自身も考えていた事でもありここに140年の校歴を時系列で箇条書きにし、所見を述べます。

尚、参考文献は攻玉社史及び母校の同窓会誌に因ります。

- ①1875年(明治8年)9月 近藤先生は私財を投げ打って、東京都港区浜松町に航海測量習練所を開設→先立つこと1869年(明治2)に攻玉塾(後の攻玉社)を立ち上げ、数学、測量、蘭学そして航海術の教授を始められております。

- ②1881年(明治14年)8月 鳥羽に商船学分校を開校

→旧校歌にも歌われております「明治14年」ですが、あくまで鳥羽商船は「航海測量習練所の分校」として、先生の故郷であります鳥羽の地に建学されたのであって、独立した学校ではありません。私の調べた限り、開校した地と現在の地が違っていても、校名が変更されていても、校歴は連綿と継承されている学校は国内に数えきれないくらいあり、東京から鳥羽にDNAがシフトされただけで、校歴が切れたのでは全くありません。

- ③1893年(明治26年)3月 鳥羽商船学 廃校

→一度廃校にこそなっていますが、1895年(明治28年)10月 山内方寿治海軍少将が三代目校長として着任。二代、三代と途切れる事なく持続性があります。

- ④1986年(昭和61年) 商船教育創始110周年を記念する会を挙行。当時の郵政省から近藤先生のお姿の記念切手が発行される。

→この項が非常に大事なのです。1986年から110年を引きますと1876年になり、数か月のズレこそありますが、近藤先生が個人で1875年に航海測量習練所の開設をもって商船教育を始めた事を国が認めている事になります。



商船教育110周年記念切手

以上4項目の事実を前提に考えてみますと、母校の150年は2025年(令和7年)になり5年後に迫る事になります。

校歴の変更は種々多様な問題があり一朝一夕にはいきませんが、近藤真琴翁の商船教育150年の歴史は不変の事実です。

加えて記すならば、1925年(大正14年)に同窓会が結成されたので、丁度2025年が同窓会設立100年に当たります。更に新しい練習船鳥羽丸の更新に向けて進行中です。正にこの歴史的慶事が重なる訳であります。

そして、皆様のご理解を頂いた上で2025年(令和7年)商船教育150周年をもって会長職を工業系卒業の方へバトンパスが出来れば、母校は新しいページを拓く事になると考えております。

**最後に、私の願いは母校繁栄、同窓長久、災障消除そして諸縁吉祥です。**

在校生、卒業生の皆様、商船教育創始150年、同窓会設立100周年を令和7年、西暦2025年、共に祝賀出来る事を期待しております。



名古屋メッキ工業株式会社  
NAGOYA PLATING CO.,LTD.

本社  
熱田工場・事務所  
守破離工場  
海のロマンス工場  
櫻華工場

本社  
〒467-0863 愛知県名古屋市瑞穂区牛巻町4番6号  
TEL/052-882-3954  
https://www.nagoya-mekki.com

代表取締役  
菅沼 延之(S48N・88期)

## 学校長挨拶

### 林 祐司



7月28日現在、PCR検査の陽性者は全国で約600人／日が続いており、特に東京都で3桁の陽性者が連日報道されています。新型コロナウイルス感染症拡大防止策の決定打はなく、感染防止と経済活動との両立については、日本をはじめ世界の国々で試行錯誤が繰り返されています。ワクチンの開発も治験段階に入ったものが数件あると報道されていますが、先行きは不透明です。

本来、人類は3密によってその文明を発達せしめたという説がありますが、現時点での本校の立場は教育現場での3密解消対策を徹底していく必要があります。まず手始めに、教員の労働時間に関しては4月より変形労働時間制を中止し、0830時～1700時としましたし、在宅勤務も認めています。また、県境を越えての不要不急の出張は禁止とし、遠隔会議を推進してきました。一方、学生に関しては、3月18日の卒業生・修了生のみでの卒業式を最後に、原則的には学内への立ち入りを禁止していましたが、6月22日より25人全員の専攻科学生（全員通学生）を対象にし、専攻科の対面授業を開始しました。

学生の待遇に関する本校の基本的な考え方は、

- 1) 通学生と寮生を区別せず、一体として考える。
- 2) そのために、暁寮開寮後に対面授業を開始する。
- 3) また、通常の正課（対面授業）の運用が軌道に乗ってから、課外活動をゆっくと開始する。

という3点に絞って運用しています。

以下、本校の試みについて説明いたします。

#### 1. 遠隔授業・遠隔会議

本校では、4月20日より遠隔授業を開始しました。全国の高専の中でも早い取り組みの開始でした。6月19日には都道府県境をまたぐ人の移動自粛が緩和されました。一方、首都圏をはじめ大都市圏ではPCR検査陽性者の数は一旦落ち着いたかに見えましたが、徐々にその数を増やしています。暁寮寮生の7割が三重県外の学生であり、学内の安全・安心の堅持のために寮に呼び寄せることを禁止しています。そのために遠隔授業を8月7日まで継続する予

定です。教職員の努力の結果、遠隔授業に関する技術と内容の充実は日々進出し、今後同様の事態になったとしても、授業に関しては遠隔授業で対応が可能になりました。また、キャンパス内の教職員の会議も遠隔会議が一般的となり、対外的な会議も同様の状況となりました。ただ、慣れない環境下での授業または会議の連続で、学生、教職員共々ストレスが溜まっていることも確かですが、「新しい生活習慣」を身に付けるための期間と理解しています。

#### 2. 暁寮全室個室化

現在、暁寮は個室化のための工事期間に入っています。ただし、工事予算の制限があり9月8日の開寮時点では、全寮生171人のために171室の個室の準備にとどまります。来年の2月～3月にかけての個室化の工事を実行して、来春の4月には新寮生と継続の寮生のために191室の個室を実現したいと考えています。そのために追加工事の資金確保が喫緊の課題となっています。

#### 3. 対面（面接）授業の開始

9月8日から数日をかけて開寮し、9月14日から徐々に対面授業を開始する予定です。当初は、遠隔授業で実施困難な前期開講の実験・実習から開始し、遠隔授業の補習を行います。前期開講科目のうち科目担当教員が対面の試験を希望する科目については筆記試験を行う予定です。

対面授業開始後、学内関係者で感染者が出た場合は、直ちに対面授業を中止し、遠隔授業に切り替えます。

#### 4. その他の予定

商船学科6年生は、4月1日乗船予定でしたが、船内の安全確保のために3ヵ月の海技教育機構の遠隔授業を履修したのち、7月1日から銀河丸と青雲丸に分乗して、長期乗船実習が開始されました。下船予定は9月27日で、卒業式は9月29日の予定となっています。参加者は、感染症の状況が悪化していなければ、卒業生・修了生と各人1人の保護者の参加としています。

今後の感染症の状況は不透明ですが、状況に合わせて、学生、教職員の安全と安心を確保しつつ対応していく所存です。貴同窓会におかれましては、学生及び本校に対しまして変わらずのご支援をいただきますよう深甚よりお願い申し上げます。



伊勢三河湾水先区水先人会

小久保 又五郎 (S38N)	家田 和良 (S39N)	池上 義孝 (S40N)
成田 寛太郎 (S41N)	横山 良一 (S42N)	小林 司 (S43N)
大野 義和 (S44N)	池山 薫 (S47N)	伊庭野 紀弘 (S47N)
中村 道夫 (S47N)	岩本 正直 (S49N)	大濱 輝久 (S49N)



特集

## 「我等! 鳥羽商船」 前編

## 船降り

齋藤 正

昭和36年 機関科卒

先輩方の寄稿を読み戦争中や終戦後の船、海運のありようを知るにつけ昭和16年生まれの私は良き時代に生まれ育ったと思っている。私が生まれて丁度1週間目に真珠湾攻撃があり終戦の時は満4歳、戦争中の記憶は余りないが戦後の厳しい時代は十分に経験させて貰った。



私達が短期実習(昭和34~35年頃)で乗った練習船、初代進徳丸の若い士官が学生時代、大成丸で遺骨収集に参加しており若い実習生がジャングルの中で汗と泥にまみれて両手に頭蓋骨を抱え震えながら泣いていた、とその体験を語ってくれた。私はその話を聞き当時、戦争を身近なつい最近の事として捉えていた。

私の父はシナ事変、太平洋戦争にも召集され2度も戦地に赴いた。北支や南支を転戦しかろうじて生き延び昭和21年春やっとの思いで復員した。父が無事復員しなければ私は鳥羽商船に行けていない。本年はその父が亡くなって20年の節目に当たるが私の船乗り生活は10年位で、船を辞め陸に上がってノルウェー系の商社に勤めた。そこで外国の船用機器メーカーとの付き合い方や商売の基本を学び1985年(昭和60年)に独立して“日本デジタルガバナー株式会社”を設立した。父は一つの事を永く続けるよう私に言っていたが私は約10年で船降りとなった。船乗りはしかし永く続けたかったがそれにはいろいろな人生の条件が必要でそれをクリアーした人、またはさせた人が続けられる厳しい職業のひとつであ

ろう。それは永い間私の中に矛盾として残っていたがサラリーマン時代も会社設立後もいずれにせよ私の仕事は船の機関室に関連するものであったので乗っても降りても一つの畑で生きていく事に変わりはないと思以後十分納得のうえでやってきた。

練習船初代進徳丸に関してはもう一つ想う事がある。コロナ禍で自粛中ひまに任せネットで映画“SOS Titanic 忘れ得ぬ夜”を見た。L.Dicaplio主演のハリウッド映画ではなく1957年制作のイギリス映画である。印象に残ったのは石炭炊きのボイラーと主機の技術的進歩、変革である。初代進徳丸は2機2軸のレシプロ主機でTitanicと同じ型のボイラーを2缶持っていた。勿論Titanicとは較ぶべくもないが実習生と訓練所の乗組員とでこれを動かし横浜、神戸、長崎へと実習航海をした。思い出したのはボイラールームでの航海当直である。短期乗船実習は通常2校が一緒に乗る。しかし私達は鳥羽1校で乗ったので特にボイラールームの当直は炭庫で石炭を繰る作業があり少人数での作業は体力的に大変きつかった。

石炭を上手く燃やすには経験が要る。航海中我々実習生が焚いてもうまく燃えてくれない。炉内で燃えた石炭は粘りついて火格子に絡みつき通風を阻害する。蒸気圧は上がるどころか少しづつ下がって行く。我々より3-4年後輩諸兄や先輩は皆、これを経験済みで思い出して頂ける方も多いのではないだろうか。

一方、日進月歩の2サイクルディーゼル主機は1980年代に入って高過給と究極のロングストローク化で電子ガバナーの搭載が進み、その普及は主機の電子化を促した。そして2005-6年位からカム軸のないディーゼル主機が現れ機関の制御、操縦、燃焼管理まで電子化されるようになった。その昔、ヒイヒイ言いながら廻したMANのダブルアクティングに比べ何と華奢できれいで優雅な事か。

進徳丸で石炭の燃えがらをためらいもなくAsh Hopperで海に投棄し、港内においてもトイレの水は垂れ流しだった。それが厳しく禁止され海洋のみならず現在は大気汚染の防止にまで拡大されて電子化された主機は排気ガスもきれいで環境にやさしいものにしなければならなくなった。そうなると次に来るのは主機に焚く燃料の革命である。

船の燃料は最初、石炭であり、我々の時代は重油であった。しかもできるだけ値段の安い低質重油を使用できる事が良しとされていたが今度は低硫黄重

油 (Low Sulfur Fuel oil) を使用するか従来の低質重油を使い続けるのであれば排気スクラバーの装備が義務付けられる。またはLNG燃料を使用するしかない。前者は燃料費の高騰を招くが燃料系統に手を加え必要な装備を追加する事で設備的に何とかしのげる。後者はLNGガスを直接焚けるガスエンジン主機に替え、重油タンクの代わりにLNGタンクを積みねばならない。現在LNG焚き主機の新造船が国内造船所で建造され始め、またそれを支えるインフラとしてLNGバンカー船の建造も始まっている。

余談ながら私の船乗り時代最後の船はLPG船で会社は2等機関士の辞令をくれてガス担当の2等機関士として乗船していた。LPGもLNGも基本的には液化ガスの運搬なので手順や作業には多くの共通点はあるが貨物の温度も性状も全く異なる。LPGが-40℃位なのに対しLNGは-162℃でしかも船の上では再液化設備がない。

環境保護の為、従来良しとされてきた経済活動に関する価値観がすっかり変わってしまった。私の会社は最初主機の電子ガバナーや主機リモコン (Norway製) を扱っていたが現在は燃料や効率モニター用機器及びLNG船とLNG燃料に関するもの等、とすっかり様変わりした。

時代の流れにより以前の主力商品が姿を消し、変革による新しい製品や市場が生まれる。この流れを注視しうまく捉えれば会社の長期存続も可能であろう。



幸い、このような変遷をまじかに見る事ができるので現在会社の実務からすっかり離れてはいるがこの変革の様子をしっかりと見届けてやろうと思っている。



## 我が半世紀の航跡

### 中野 正義

昭和41年 航海科本科卒

地球規模で厄介な“新型コロナ”に加え、温暖化の所為?か昨今の自然災害、当年は“令和2年7月豪雨”で憂鬱な生活環境となっている。

筆者は約10年前に親族の介護の事情から、住み慣れた横浜・菊名の住まいから、福岡中央区は輝国(てるくに)に移り住んだ。未だに難しい地名・習慣など判らない事もあるが、地域に馴染むべく各種団体や町内会などの活動に、積極的に参画している今日この頃である。

過日、同窓会報に寄稿要請を頂いたので、専攻科修了後50年以上の年月が経った此の記念の時点で、“我が半世紀の航跡”を振り返る。

#### ～鳥羽商船～

本科卒業後は自然体ですんなり2年間の専攻科に進み、航海訓練所の練習船(進徳丸、海王丸)、加え船会社での社船(オセアニア丸)実習で大いに実習・勉強に励み、何とか海技免状(甲長筆記に加え、二級海技士一航海、小型船舶操縦士)、他にレーダー操作上必要な特殊無線技士を取得した。3年間の本科では、体験のない珍しいことが多々あるものの規律厳しい全寮制であったが、専攻科での鳥羽では、下宿生活とか家庭教師などの貴重な経験を積むことも出来た。

#### ～船会社から商社出向・メーカーへの再出向～

鳥羽商船専攻科修了後、船会社に就職出来たのは良しとして、直ぐの海上勤務は無く、同社は当時海図販売もやっていた事から、図誌課に配属され、海図の“改補”を中心とした業務を担当した。

其の後、待ちに待った乗船命令が出て、在来貨物船2隻と10万トン型タンカー1隻の計3隻の海上勤務の実務体験する事が出来た。当時は乗組員が50～60名程度と多く、船内娯楽として、麻雀、ゴルフの練習、囲碁など、パーサーとかドクター(船医)も乗船しており、男ばかりの職場であった。航路は貨物船にてカリブを含む北米東岸、南米西岸、紅海、タンカーでは、中東方面であった。航海は、波静かな月明かりの時は、陸では味わえないほどの素晴ら



東京湾水先区水先人会

坂崎 清 (S40N)  
飯野 実 (S44N)  
藤本 良夫 (S51N)

中川 敏 (S40N)  
石川 富朗 (S47N)  
木場 弘幸 (S53N)

三村 徳蔵 (S40N)  
高木 春男 (S49N)

しい光景であるが、一方、荒天時は船体保全、海難防止に注力しなければならないし、かなり揺れるもので、気分が悪くなることもあった。海上勤務での長所は、世界の各国に、仕事をしながら訪問出来る事が挙げられるが、困難は離家庭性にあると思う。が、その反面、他の職種では有り得ないと思われる長期有給休暇が素晴らしい長所と云えよう。

海上勤務の後は、社命により陸上勤務で東京支店に配属され集荷担当となった。主として、三菱グループ企業が顧客層となるが、機械、プラント関連のやや技術力や知恵が必要な分野で有ったのが、商船学校出に於いては遣り甲斐でもあった。海陸空の物流設計、見積業務、技術検討等の相談で客先にも度々出向いたが、1974年8月に発生した**三菱重工爆破事件**は忘れられない大事件であった。

当日午前中に顧客事務所を訪問の上、輸出発電プラントの海上輸送業務に付き協議していたが、12時半位になって終わり、帰路途次で爆破事件が発生、周辺のビルも含めガラスも落下するなどで、死傷者も多数出たが、筆者は運よく無事で、“**九死に一生**”を得た。

其の後、商社から出向要請に沿い、同じ丸の内の商社本社に勤めたが、職務内容等は左程変わる訳ではなく、立場が荷主側という事であった。時を経て、今度は長崎のメーカーから要請で、再出向に応じた。長崎では中東プロジェクト室に所属し、主にイラク向けの大型火力発電プラントの物流業務に携わった。難題は、船会社、商社、メーカーと三社の名刺を持ったことで、“思案橋”で思案、今風に言えば“夜の街”で、偶々遭遇の顧客への挨拶に苦労したことか???

～商社物流部隊～



1980年 バスラ分室事務所にて

約1年半のメーカー勤務後は東京丸の内の商社本社の物流部隊に復帰、偶々、**イラク**でのハウジング関連プロジェクトの大型受注があり、大量の資機材が日本を中心に国際調達されるが、受け入れ側イラクでの物流管理者も必要となること

から、現地駐在との要請が有り受諾する事としたが、商社への中途採用を条件とした。1980年の4月に商社への転籍後、直ちにイラクに赴任、バスラに住居兼事務所を確保、バスラ分室とし、日本人ワンマンオフィスを開設した。勿論、事務職員のほか社有車の運転手、ガードマン、ボーイ等はイラク人を雇用した。同国では海上輸送に於ける玄関港のバスラを中心に活動していたが、同年9月22日にバグダッド空港にてバスラ帰任の航空機を待っていたところ、突如空襲警報が鳴り**イランイラク (イライラ) 戦争**が勃発した。結局、バスラには戻れずバグダッドでの同僚宅に暫く寄宿し、其の後、バスラには必要に応じ、夜行列車や社有車(約600KM)で往來のこととなった。勿論、開戦後は、バスラ港が使えないので、クウェートやヨルダンやトルコの港湾や陸空運を利用した。又、開戦前のバスラ港が数年前から異常な船混みで有ったため、自社優先バースの建設も実行中で、筆者は施主側現地監督も務めたが、竣工が相当期間遅延したことを思い出す。



1981年 ヨルダンのアカバ、同行者と記念撮影

3年間のイラク駐在後は、商社本社の物流部門に帰任、主に機械・プラントの物流業務、時を経て、物流機器・システム販売や子会社の営業部長、定期船貨物(ライナーカーゴ)のリーダーを務めた。

其の後、又しても海外出向への社命が下り、**シンガポール**に建設中の大型物流センター(現地企業他4社合弁)のMD(マネージングディレクター:社長)となり、新造船艀装や乗り出しの如く、要員募集・人員配置、物流機器・資材を大急ぎで揃えて、何とか稼働させた。

次に、国際間横滑り人事で**フィリピン**行きの社命が下り、マニラに赴任、新築大型物流センター(現地企業他4社合弁)のプレジデント(社長)で赴任



大阪湾水先区水先人会

- |              |              |               |              |
|--------------|--------------|---------------|--------------|
| 田中 忠士 (S38N) | 河口 長弘 (S40N) | 南方 日出一 (S40N) | 藤本 昌之 (S42N) |
| 鹿野 秀治 (S48N) | 小山 道夫 (S49N) | 山本 隆史 (S52N)  | 山本 丈司 (S54N) |
| 習田 誠至 (S55N) | 濱地 義法 (H4N)  | 蛸積 史丸 (H12N)  |              |



1998年 シンガポール、合併会社社長宅にて



2000年 マニラ、長官との保税機能に関わる調印式

した。当地は、シンガポールでの様な安心感がなく、後ろに目が必要とも言った不安を感じる社会情勢であった。筆者も毎日の通勤は運転手にルートを変えさせた程、安全確保に留意した。マニラの3年間は、**マニラ湾の夕日**が忘れられない思い出となった。

其の後、商社本社に一旦帰任し、子会社の常務取締役を1年間務めたのち、当時一般的な**早期退職制度**に応募し**準定年退職**、自身の有限会社を設立、早や18期目を迎えている。その間には二部上場物流会社の顧問(1年)、浜松町に在る商社・物流系孫会社S社の社長(7年)なども勤めた。S社は創立後22年を迎えるが、主に北海道から沖縄まで全国の有力陸運系物流会社を50社程度ネットワークするもので、業績は安定している。同社事務所は、我が校祖の近藤真琴翁と福沢諭吉翁の学塾跡に近い場所に在る。校祖は1863年に当時鳥羽藩の在った四谷にて、航海術、測量術も含めた蘭学塾を開き、1871年に慶應義塾から攻玉塾への塾の譲渡、其の後、**1875年9月同所(浜松町)に、日本初の商船学校となる“航海測量習練所”を開設**、145年が経過している。此の習練所開設が母校たる鳥羽商船の原点(創業)かと、筆者は思考している。

### ～終わりに～

半世紀を振り返り、公私含めて約80か国(駐在は3か国)を歴訪出来たことは至って幸いなことではあるが、自身の航跡の反省点は果敢な“チャレンジ精神”や“語学力”がやや不足していた事であろう。

今や、主な産業界、物流業界、特に外航船の運航業務は人財的には、国際人事の極めものであるし、他方、技術分野に於いて、船舶自動運航システムの方向性を、国際的な主要船社が積極的に検討している。我が母校は幸いにも**商船学科**と共に**情報機械システム学科**があり、ロボット等情報産業技術では世界的にも高く評価されている。

我が母校の後輩となる学生・同窓の方々には、折角の海上運航技術分野と情報産業技術分野の両技術を調和・融合させ、特定専門分野の頂点を目指し“**七つの海に雄飛**”して欲しいと願うものである。



## 我が国のクルーズ振興に思いを寄せて

### 田中 三郎

昭和42年 航海科卒

私は中学3年時に晴海ふ頭で外国航路の貨物船を見て「船乗りになりたい」と将来への夢を描き、1964年(昭和39年)に鳥羽商船に入学しました。

5年間の学業を終え社会に船出する私達に担任の落合先生(元同窓会長)は「人生のテーマを探し・持て!」とエールを送って下さいました。

それから約20年。私が勤務していた日本郵船が客船事業を再開する事となりましたので、少年時代の熱い思いと落合先生のエールをよみがえらせ「客船事業に参加したい」と手を挙げ、クルーズ船飛鳥の建造、郵船クルーズの設立を皮切りに23年間に亘りクルーズ業務に携わり郵船クルーズを退社したのは今から8年前でした。

その後、クルーズ運航会社設立準備などを経て、7年前より国土交通省の関連財団に迎えられ、現在はクルーズ総合研究所副所長としてクルーズシンクタンク及び調査業務に携わっています。少年時代に描いた「客船船長になりたい」との夢は叶いませんでしたが、古希を過ぎた今もクルーズ産業の最前線で元気に活動できる事を感謝しています。

さて、前置きが長くなってしまいましたが、私がテーマとしている「クルーズ」は世界に約300隻就



内海水先区水先人会

本山 幹夫 (S38N)  
青山 保 (S42N)

島田 愛水 (S42N)  
谷口 誠 (S56N)

武藤 兼廣 (S42N)  
大濱 啓司 (S60N)

航している外航クルーズ船によるものであり、鳥羽港等で見かけるフェリーボートや港内観光船等は対象外であります。

「クルーズ」による世界の経済効果は凡そ1,500億ドル（17兆円程度：2019年東京都の予算は約15兆円）と言われており、世界のクルーズ人口は2019年時点で約3,000万人ですので一つの産業として成り立っていますが、日本のクルーズ人口は約30万人、クルーズ船は3隻ですので世界における夫々のシェアはわずか1%程度であり、世界のクルーズ関係者は日本のクルーズ状況を「日本は眠れる獅子」と揶揄しています。シェア1%の実態を知ると「確かにその通り」と認めざるを得ません。

日本のクルーズは平成元年をクルーズ元年として30年間程の歴史を有していますが、富裕層を対象としたニッチマーケット向け旅行商品でしたのでシニア層を中心に限られた人々が関心を示す程度のものでした。一方、世界のクルーズは一般大衆を対象としたカジュアルマーケット向け商品であり、低価格料金を目指し船を大型化し、若者やファミリー層が楽しめるよう船内のレジャーランド化を図り手軽な船旅を創り出し多くのクルーズ客を引き付けました。

このような閉塞的な日本のクルーズに石を投げ入れたのがアメリカのプリンセスクルーズ社でした。2013年にサンプリンセスによる日本発着クルーズを開始し、2014年には日本の造船所で建造されたダイヤモンドプリンセスを日本発着クルーズに投入し新たなクルーズマーケットの開拓に取り組みました。日本のクルーズ業界はプリンセス社による日本発着クルーズを「黒船来襲」と恐れましたが、プリンセスクルーズは多くの人々に受け入れられ日本のクルーズビジネスモデルを創り上げていました。

その矢先の本年2月、ダイヤモンドプリンセスの集団感染が発生しました。患者712名・死者13名の実態は日本のみならず世界に伝えられ、クルーズ＝危険との風評により、世界のクルーズ産業の崩壊が



ダイヤモンドプリンセス

資料：カーニバルジャパン

つぶやかれるような事態を迎えています。私は「クルーズ産業復興は人々の望みである」との希望を掲げています。

原稿を執筆している7月の時点では我が国のクルーズをいつどのように再開するかを模索している状況ですが、ウィズコロナのクルーズを再開し、やがてはコロナ以前の状態を回復する日を楽しみに老体に鞭打ち取り組んでまいりますのでクルーズ振興へのご支援をよろしくお願いいたします。



## 最後のタービンLNG

竹内 大助

昭和44年 機関科卒



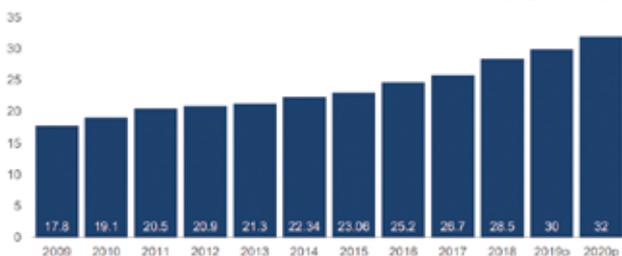
写真1. 初期のMoss型LNG船87,500M3 朝明丸

### 1. 初めましてー。

無職になったのに新型コロナ騒ぎで旅行も出来ず、雨が多いので庭仕事も余り出来ません。そうそう同窓会誌に何か報告しましょうか、そこでまだ生々しいこれを選びました。昨年2019年秋まで長崎の造船所でLNG船の建造監督をやっていたからです。「監督って何？」と思う人もいるでしょうね。スポーツの監督とは違って、何でも指示出来る訳ではないですが、発注主の立場で「ここはこうしろよ、そこは、それで良いよ」と判断して船を作り上げる、

増大する世界のクルーズ需要

資料：CLIA（世界クルーズ会社国際協会）



和歌山下津水先区水先人会

畑 辰幸 (S51N) 清水 貢 (S56N)



鹿島水先区水先人会

郡 茂典 (S50N) 大原 智喜 (S57N)

施主代表です。工場長に談判する事もあれば、現場の職人と冗談を話す事も必要です。ですから現地駐在が基本です。一つの船を作るにはLNG船では3人から数人が、1年半程度駐在します。タンカーやばら積み船などでは1人から3人程で半年から10か月位掛かります。長崎では7年間で5隻のLNG船を担当し送り出しました。その前は千葉の造船所において5年間で9隻を出しました。タンカーや鉄鉱石船で1隻当たり工期が短かった事と建造が重なっている時もあったからです。それは良いのですが、どちらの造船所でもこんなに長く駐在した監督は居ない、と言われました。別に仕組んだ訳ではないが、へえ、何故なのかな。所属会社が造る船が連続すれば駐在が続きますが、3か月も空白が開けば転任になり、必要になった時に、たまたま開いている人が着任する、即ち途切れます。よって連続したのは余程の偶然か、又は何かの理由があったのでしょうか。

## 2. 船の建造とブーム

何故、連続して駐在したか、勿論、私の出身母体が商船三井でその建造船自体が多いという事。これは事実ですが、それでも連続するのは珍しい。でもこの時期を簡単に年表にしてみると、下の通りです。時代の波がその種の建造船を増やしていたのかも知れません。

- 
- 2005 郵政民営化、海外テロ、**原油高騰**  
**千葉駐在開始**  
 2006 原油78\$, 堀江社長逮捕、**中国外貨準備1位**  
 2007 **原油100\$越す**、中国食品衛生問題  
 2008 東証バブル以後最安値、**北京五輪**、リーマンショック  
 2009 鳩山内閣誕生、オバマN平和賞、**新型インフル蔓延**  
 2010 菅内閣誕生、**中国GDP 世界No.2に**  
 2011 東北大震災、野田政権、欧州危機、アラブの春  
**千葉終了**
- 

2000年の以前から続いていた中国ブーム、欧米からの投資が多かったのです。各地の港で船が多数沖待ちしていると聞きました。このブームは2008年の北京五輪の前まで続いた筈です。船の建造は直ぐには出来ず決めてから完成まで2～3年は掛かりますから（欲しい時期とズレる）造船のブームは2006～2012年まで続いたのでしょうか。鉄鋼の増産

の動きが顕著で鉄鉱石船の建造も多かったのです。それが多いと国内の造船所（船価の点で競争力低い）にも大型タンカーの発注が回ってくる訳です。それで5年に亘ってVLCCや鉄石専用船の建造が続いたのでしょうか。

---

長崎開始

- 2012 自公勝利、習近平氏頂点に、**新興国景気減速**  
 2013 アベノミクス始動、**TPP交渉参加、シェールガス革命**  
 2014 集団的自衛権、10%上げ延期、イスラム国台頭  
 2015 **中国経済ブレーキ**、中東難民、**TPP大筋合意**  
 2016 熊本地震、10%再延期、トランプ氏勝利、テロ多数  
 2017 森加計日報問題、習氏1強確立、米政権混乱  
 2018 米中貿易摩擦  
 2019 令和に、消費税10%に、香港大デモ、森林火災
- 

LNGは脱炭素の風潮の中で世界的に需要が増えています。そこに2010年頃から米国のシェールガス（下注記参照）の開発が注目され、13年2月の日米首脳会談で安倍首相は、環TPP交渉参加を表明し、米国産シェールガスの対日輸出の許可を求めたそうです。それまで米国では将来のLNG輸入増加に備えて受け入れ基地を準備していたそうです。ところが、シェールガスが取れ始め国内産出ガスが安くなり輸入は止めて逆に積出し基地に使うという夢のような話です。日本の電力、ガス会社も輸入国の多角化、コスト競争の実現に向けて輸入契約、船の手当て（USA東岸は遠い為、必要船数が増える）に動いたのでしょう。結果として世界中の投資家の発注が増加してここ数年、国内の造船所も20隻程度のLNG船を製造しました。これが去年までの7年間連続の理由だったのです。ですが日本の造船の最後の華やかな時期だったとも言えましょう。

\*\*\*\* 注) ウィキペディアより抜粋 \*\*\*\*

アメリカでは、シェール層が国土のほぼ全域にあり石油や天然ガスの埋蔵量は100年分を超えるといわれる。世界最大のエネルギー輸入国から2020年ごろには一転資源大国に躍り出ると見られる。一方、世界一の天然ガス埋蔵量を誇るロシアは、世界シェアが低下している

### アメリカのシェールガス革命 (2013年)

シェールガス開発が進んだことにより、2008年から2013年頃にかけて火力発電所のランニングコ



伊勢三河湾水先区水先人会

田中 俊彦 (S50N)  
 町 裕次 (S52N)  
 西濱 卓己 (S54N)  
 門奈 克明 (S62N)

鶴飼 幹夫 (S52N)  
 森内 芳卓 (S52N)  
 増島 忠弘 (S54N)

畑内 康孝 (S52N)  
 鈴木 晴敏 (S54N)  
 原 秀男 (S56N)

ストが半分程度に低下。コスト面で太刀打ちできなくなった旧型原子力発電所の廃炉が相次いだ。

2013年5月17日、天然ガスの日本向け輸出申請が認可された。日本の輸入天然ガスは、石油価格連結といわれ、長期にわたる高値契約で、単位あたり36ドルという報道もあった。アメリカ国内の天然ガス価格は100万BTU（英国熱量単位）当たり3ドルを割っている。

\*\*\*\*\*

### 3. 韓国の造船界

韓国は物価も日本の6割位だし大量生産的な造船方法を取っているので仕事さえあれば、日本のYardより競争力があります。しかし余りにも規模が大きいので造船不況になれば極端な首切りが出るだろうと心配してしまいます。例えば現代重工は世界一の造船会社ですが、1か所の造船所だけでも日本の大手造船所の主要工場の倍以上の規模で、蔚山などはそこだけで年間130隻程度の大型船を各種建造（翌年の造船不況では年間35隻程に減少）していました。現代重工はそんな工場が4か所ある。更にその1か所にほぼ近い工場がサムソン（三星）とデウー（大宇）という2社1か所ずつあります。つまり長崎、呉、坂出、津、千葉の造船所の倍以上の工場が6か所はあるという信じられない規模なのです。国の補助もあり、労働人口を支えようとしています。現在も数十隻のLNG船建造を受注しているようです。でも赤字の建造なのだと、サムソン重工の社員が嘆いていました。彼はサムソンの工場が人余りの為、ここ数年間、長崎に派遣されていたのですが、長崎も建造が無くなり戻りますようです。いかな韓国でも中国のShipyardと競争して契約を取ると赤字なのです。最近まで日本が、昔には欧米のYardが経験した事をこれから彼らが味わうのです。

### 4. LNG船の形と種類 MOSS船

2018年でしたか3か月毎の貿易収支のニュースで赤字の報告の時によく映像が使われていました（黒字の時は自動車専用船が使われますよね）。丸い突起の目立つ変な船、形状からして目立ち、分かり易いあれがMoss型のLNG船です。この球形タンクはノルウェーのMoss Rosenberg社の開発でMoss型ともいわれます。球形であるが故に応力解析が容易で安全性が証明できるので2重構造が不要になった大発明です。-163℃になるのでアルミで作った

タンクです（9%Ni鋼でも可）。しかし、最近では4球、5球と分かれて見えないのもあります。

#### \* さやえんどう型



写真2. さやえんどう型

写真2は153,000m<sup>3</sup>の船で通称、さやえんどう型といいます。豆のようなアルミのタンクをさやのような連続したタンクカバーで覆っているからです。これだと船の縦方向の折れ曲がりに対して頑張る強度部材で上まですっぽり覆うので（ペットボトルのように）全体として薄く軽く出来る名案なのです。尤も、内部的にはタンク毎に隔壁で仕切っていて「さや」だけではありません。又、球形タンクといってもこのシリーズでは赤道部分を少し引き伸ばしたストレッチ型と言って円筒部分で容積を増やしています。それでも真球に準じた安全性能が確認されているからです。川崎造船もこの方式のようです。

#### \* さやりんご型



写真3. 真球時代の北半球



写真4. さやりんごの怒り肩



最後に造った2隻はこれで、まさに林檎のように北半球は肩の怒ったような球形で中央部は円筒、そして南半球はスリムに絞ってゆき、下側で丸く収めてあります。写真3はその肩が見えるので判って貰えるでしょう。これは船の幅を49mに収めながら最大の貨物容積を持たせる工夫であり、その心は第2パナマ運河（2016、6月開通）を通れる事です。先述のシェールガスの積出港は米国東岸にあるからです。通峡可能でかつ180,000m<sup>3</sup>に増加出来ました。同窓会諸氏の現役時代はPanamax型といえは33mまでで、米国の軍艦も含めて殆どの船がその幅以下でしたが、うーん、時代は変わりましたね。

## 5. LNG船の形状、メムレン型

写真5はLNG船が第2パナマ運河を通航している風景の商船三井のカレンダー写真で、これも180,000m<sup>3</sup>の船なのです。しかし船の高さが大きくなく船橋が5階建てで済んでいます。こういうフォームはメムレン型の特徴で、メムレン即ち薄膜でタンク内壁を作っています。それだけでは圧力に負けますから外側に強度のある防熱材を宛がって船体構造に応力を持たせます。又、何しろ薄膜で溶接部分も多いので万一の漏洩に備え薄膜も防熱も2重にする必要があります。それでも船殻構造に合わせた形状に出来るので球形タンクに比べれば船内の無駄空間は大幅に減り、しかも軽く出来ます。中央部は上甲板から数m程度、高くなっていますが、これはスロッシング（貨物動揺によるタンク損傷）対策でタンク断面の両肩をなで肩にしているからです。



写真5. 第2運河のメムレン船

このタイプには2種類あって、一つはわざと縦横に皺を作ったステンレスの1.2mm厚の薄板を繋ぎ合わせます。皺の曲線部も上手く自動溶接され、冷えて収縮しても皺の曲り方が変わるだけという訳です。もう一つのタイプは平板ですが熱膨張が殆どないインバーという特殊なNi鋼板でやはり1.2mm厚

を用います。冷えても常温でも変化がないから皺も要らないという訳です。

こういうタンク方式によって、必要な製造治具、工場設備は変わり、例えば前者のメムレン型ではバルサ材の加工工場が必要、後者では北欧パーティ合板で何万個の箱作り工場など独特の設備が要ります。中国や韓国のYardはメムレン型に合わせて製造会社、工場を作っており、これからの主流となるでしょう。

## 6. LNG船の機関

### \*タービン船

1960年代から2000年頃までタービン機関ばかり採用されていました。停泊時間が限られておりしかも荷役中でも常時可動体制を求められるタンカー/LNG船では整備工数の少ないタービン機関が最適です。更にLNGの自然蒸発によるBOG（ボイルオフガス）を安全確実に処理するSteam Dumpには大型ボイラーが好都合です。35年ほど前にもガスを燃焼できるDiesel機関は開発されていましたが、効率より安定性を選択したのは正しかったと思います。

### \*Dieselや電気推進

2000年頃よりLNGの再液化装置を設置し、主機は低速Diesel重油焚きという船も出てきました。LNGのコストを高いと考えるProjectでしょう。又電気推進2軸で発電機は中速Dieselというものも出てきました。中速機関はガス焚きの実績が多い強みがあるからでしょう。時価によって燃料は選べます。

### \*STaGE船

#### (Steam Turbine and Generator Engine)

長崎で最後に建造したのはこの形式で、左舷機はタービン主機、右舷機は電気モーター推進、その電気は中速Diesel発電機による複雑な構成でした。右舷機Dieselの排気温度はガス焚きにすると500℃程度とかなり高いのですが、これを排ガスエコマイザーの加熱源としてボイラーの給水加熱に用いる。など相互の良い所取りで効率を上げようとしたものでした。難しいプラントですがコンピューター制御で滑らかに運転できます。片側に故障や問題があって停止しても片側は全然問題なく運転出来て（当て舵も極僅か）13ノットは出ますからゆっくり原因を調べられます。肝心の効率はタービンより良くなりますがDieselよりは悪くなります。従って燃料コス

ト競争では勝ち残れませんが、タービン機関の良さを保存して体感できる貴重な船になりました。長崎のタービン工場は今後陸上用の予定しかないそうで残念ながらタービンLNG船は最後のようです。

### 7. 脱硫黄／ノッキングの新時代

この船では全く新しい事象も見る事が出来ました。世界の脱硫黄の規制がいよいよ強制される事になり、長い間泣かされ親しんだC重油は積まず（建造用が少し残り）に出港しました。ボイラーにも透明なマリンガスオイルを使用するのでから機関士の仕事も変わったものです。汗はかいても真っ黒になって、という事は減るでしょう。又、中速Dieselのガス焚きでは「ノッキング」が出てきました。これまで船用機関では着火性を上げる事に懸命で、爆発的燃焼なんて全然なかった現象です。元々ガスは着火性が悪いのでPilot Oilは不可欠なのですが、Pilot OilとGasの成分（エタンなどの大小）によって発生する場合があります。オクタン価の高いガスを選ぶ訳にもいかないのです、運航経験を積みながら、どういった場合に起きるのか詰めていく必要があります。又、現在の中速機関はマル秘のコンピューター制御でこれを抑制する技術もあるようです。ただそれには圧力、衝撃等を検出するセンサーとそれを把握判断するコンピューター技術が必要で、これらの故障との戦いが今後の日常の悩みになりそうです。

### 8. 長崎と新型コロナウイルス感染のクルーズ船

5月末でしたか、長崎に修繕入渠していた客船の乗組員に感染者が出て、対応に苦慮している造船所の記者会見が放映されました。その社長は部長時代に何かと交渉した相手でしたから気を揉みました。ですが結果的には1か月程度でうまく収束させて出港させたとの報道でホッとしました。長崎中の医療関係者がチームを作り有力者やYardとも協力して機動的に活動したように聞きました。

長崎医大は私もお世話になったのですが何しろ蘭医シーボルト以来の最大の歴史を持つ西洋医学の拠点です。江戸時代にコレラが入ってきたのもここなら戦時中に南方から帰ってきた風土病患者を多数診たのも長崎で、キャリアが違います。横浜のクルーズ船のニュースを見て客船に相応しい診療、隔離の方策等を考えていたのでしょうか。流石は長崎と思わず膝を打った事でした。 以上

#### 【参考文献】

「LNG船がわかる本」(新訂版)

糸川 直之 著

(株)成山堂書店

「LNGの恐怖－凍れる炎」

リー・N・デービス 著 LNG研究会 訳

(株)垂紀書房

## 次回総会開催地について

令和3年6月5日(土曜日)

母校創立140周年記念行事及び理事会、総会は母校にて開催。

懇親会は伊勢志摩支部、四日市支部共催で場所は鳥羽国際ホテルを予定

総会案内は来年4月に全会員に送付します。皆様の参加をお待ちしております。



**同窓会の  
ポロシャツを  
販売しています**

1着 **2,500円**(送料別約510円)

サイズは、M、L、LL、3L。  
色は、白とターコイズブルーの2種類。  
購入希望は、同窓会事務局にfax又はe-mailで申し込みしてください。



# 本部報告

## 令和元年度 本部会務報告

### ①会議

- イ) 理事会 令和元年6月2日 9:30～10:30  
鳥羽商船高専 視聴覚教室  
物故会員慰霊祭 10:40～11:00
- ロ) 総会 11:10～11:50
- ハ) 懇親会 12:30～14:30  
鳥羽国際ホテル

### ニ) 支部長会

### ②会報発行

令和元年10月1日 会員約3,700名に発送

### ③事務局主要活動

- 4月14日 総会案内発送作業  
事務局、伊勢志摩支部会員12名参加
- 5月13日 攻玉社同窓会総会  
菅沼会長・東日本支部 福山支部長、  
水野理事参加
- 5月15日 第49回戦没・殉職船員追悼式  
東日本支部福山支部長他支部会員参加
- 6月2日 理事会、総会、懇親会、物故会員慰霊祭  
伊勢志摩支部の主催、事務局応援  
母校視聴覚教室、鳥羽国際ホテル
- 6月24日 母校学生会、寮生会役員と懇談会  
菅沼会長、江崎事務局長、西山会計、  
糸川事務局員参加  
会場：鳥羽市漣食堂
- 8月26日 母校3役と懇談会  
菅沼会長、西山会計、江崎事務局長、  
会場：鳥羽市内漣食堂
- 9月23日 商船学科卒業式  
式の参列、新卒者同窓生に対し同窓会  
説明会及び会費集金、個人情報本人より  
入手。  
卒業謝恩会参加同窓生12名出席
- 9月26日 母校林校長他3役と入学試験受験者を  
増やすための協力支援会議  
菅沼会長、加塚副会長、田中副会長、  
江崎事務局長、神子理事、山川支部長、  
福山支部長、木下理事  
会場：名古屋市内 貸会議室
- 10月1日 同窓会報発送

事務局、母校職員の会員、伊勢志摩支  
部会員13名参加

10月4日 東京攻玉社学園にて近藤真琴翁墓前参加  
及び 菅沼会長1,500名の学園全生徒に  
講話

菅沼会長、福山支部長出席

10月16日 課外活動支援金、報奨金金授与式

事務局、伊勢志摩支部会員7名参加

10月27日 海学祭参加

伊勢志摩支部が売店長老庵を設置、売  
り上げ同窓会に寄付

11月11日 攻玉社高校1年生修学旅行で来校

学生232名と先生方10名が来校し近藤  
翁記念碑と100周年記念館を見学。

菅沼会長、林校長、中村鳥羽市長、同  
窓の広耕太郎県議出迎え。

菅沼会長、校長との懇談で140周年記  
念事業の件が発案

令和2年2月 東京総会準備作業

東日本支部福山会長と打合せするもコ  
ロナ騒ぎが発生し苦慮

2年3月 140周年記念事業実施についてメール理  
事会を開催

圧倒的賛成と反対なしの賛同を得て  
140周年記念事業実施を決議

2年3月15日 母校M、I科卒業式

コロナウイルス感染予防のため式を大  
幅に縮小、卒業生、教職員の一部のみ  
出席

## 令和2年度 本部会務計画

### 令和2年4月～令和3年3月

- 4月5日 入学式は中止
- 日時未定 戦没・殉職船員追悼式 東日本支部  
10月か11月に延期予定
- 日時未定 攻玉社同窓会総会 会長出席予定、  
東日本支部11月に延期予定
- 日時未定 横浜港カッターレース大会9月に延期予定
- 6月中予定 理事会（オンライン会議検討⇒7月運  
用試験実施50%試の実施率）
- 7月29日 故郷の海を愛する会主催予定行事  
コロナ対策で開催は中止、詳細は後述の  
故郷の海を愛する会の報告を参照下さい。
- 9月27日 商船学科卒業式（N、E）・修了式（海事）  
式は縮小となる予定で事務局参加できない
- 9月末日 同窓会会報発行 事務局
- 3月14日 卒業式（M・I）・修了式（生産）  
会長、地元支部役員事務局

## 令和元年度 会計報告

自 平成31年4月1日 ~ 至 令和2年3月31日

会計報告は令和2年6月11日特別理事会にて承認されました。

### 現金・預金

※比較増減=期末-期首

勘定科目	期首金額	収入	支出	期末金額	比較増減
現金	0	0	0	0	0
普通預金計	2,650,216	12,589,792	12,585,739	2,654,269	4,053
定期預金計	21,372,905	2,117	0	21,375,022	2,117
現金・預金合計	24,023,121	12,591,909	12,585,739	24,029,291	6,170

### 収入の部

※比較増減=決算金額-予算

科目	元年度予算	決算金額	比較増減
会費	3,400,000	2,839,724	-560,276
寄付金収入	780,000	1,092,700	312,700
スポンサー広告	190,000	190,000	0
雑収入	1,420,000	996,209	-423,791
受取利息	1,148	2,130	982
預かり金	30,700	-28,854	1,846
収入合計	5,821,848	5,091,909	-729,939

### 支出の部

科目	元年度予算	決算金額	比較増減
負担金	650,000	520,864	-129,136
総会費	1,490,000	1,182,400	-307,600
会報・会員名簿	850,000	791,520	-58,480
対外活動費	231,000	204,000	-27,000
支部活動費	512,000	512,000	0
東日本、中部、四日市	224,000	224,000	0
伊勢志摩、関西	238,000	238,000	0
西日本、事務局	50,000	50,000	0
旅費交通費	510,000	403,000	-107,000
事務消耗品費	102,000	250,724	148,724
会議費	0	18,468	18,468
会務運営費	295,542	256,686	-38,856
外部委託費	600,000	600,000	0
特別予算1 本校紹介活動等	200,000	115,968	-84,032
特別予算2 カッター大会支援	150,000	151,144	1,144
特別予算3 プロコン等支援	100,000	0	-100,000
雑支出	100,000	78,965	-21,035
支出合計	5,790,542	5,085,739	-723,271

元年度会計では会費収入が減少するも往年の同窓よりの寄付が会費収入を挽回するも名簿販売の減少が影響し予算収入には至りませんでした。一方支出においては経費削減、コロナ感染対策での支出減少がありました。結果わずかですが黒字決算となりました。

**年々会費の収入は減少の傾向で有ります。  
会員の皆様のご協力よろしくお願ひします。**

## 令和元年度 会計監査報告

令和元年度期初、期末の銀行等の残高証明の確認を行い、今年度の収支に関しては領収書、各銀行などの出納記録と照合して監査した結果、正確かつ適正であったことを認めます。

令和2年4月30日

会計監査 武部二三男

会計監査 竹川 俊幸



## 令和2年度 予算

自 令和2年4月1日 ~ 至 令和3年3月31日

### 収入の部

※比較増減=令和2年予算-実績

科目・内訳	前年度実績	2年度予算	増減比較
会費	2,839,724	2,840,000	276
寄付金収入	1,092,700	4,560,000	3,467,300
スポンサー広告収入	190,000	200,000	10,000
雑収入	996,209	360,000	-636,209
受取利息	2,130	2,140	10
預かり金(会費・名簿等)	-28,854	0	28,854
本会計より繰り入れ	0	591,760	591,760
収入合計	5,091,909	8,553,900	3,461,991

※140周年記念事業で寄付額を例年より約350万円増額。総会・懇親会の中止により雑収入約63万の減。

### 支出の部

※比較増減=令和2年予算-実績

科目・内訳	前年度実績	2年度予算	増減比較
負担金	520,864	650,000	129,136
総会費	1,182,400	400,000	-782,400
会報・会員名簿	791,520	780,000	-11,520
対外活動費	204,000	231,000	27,000
支部活動費	512,000	512,000	0
旅費交通費	403,000	700,000	297,000
事務消耗品費	250,724	293,000	42,276
会議費	18,468	20,000	1,532
会務運営費	256,686	317,900	61,214
外部委託費	600,000	600,000	0
特別予算1 (本校紹介活動等に適用)	115,968	200,000	84,032
特別予算2 (OB等のカッター大会支援)	151,144	150,000	-1,144
特別予算3 (プロコン等支援)	0	100,000	100,000
特別予算4 (140周年記念事業)	0	3,500,000	3,500,000
雑支出	78,965	100,000	21,035
支出合計	5,085,739	8,553,900	3,468,161

※支出予算は、140周年記念事業により前年より約350万円の増額、又総会・懇親会の中止により約78万円支出は減少すること等が特記事項です。

# 令和2年度 同窓会役員・理事

※      黄色は新任    ※      灰色は退任  
※ ( )内数は定数

## 本部

会 長	1	菅沼 延之	S48N	特別顧問 (3)	3	林 祐司	学校長		
副会長 (4)	3	田中 潔	S52N			伊藤 友仁	副校長		
		加塚 伸吾	S52E	坂野 利宏	事務部長				
相談役 (5)	5	江崎 修央	H4M	事務局長 (8)	9	江崎 隆夫	S44E		
		古川 昭一	S30E			溝井 昇	S42E		
		桑嶋 収平	S31N			三井 健次	S43E		
		菅原 昌男	S33N			江尻 潜	S48E		
		松浦 肇	S36N			濱地 安実	S47E		
中澤 昌信	S37N	山口 伸輔	S48N						
会 計	1	西山 明	S50E			学校連絡	1	木下 勝	S49E
会計監査	2	武部二三男	S38N					西山 明	S50E
名誉顧問 (3)	3	竹川 俊幸	S42E			畑 辰幸	S51N	北端 大志	H8N
		落合 弘明	元同窓会長			小島 智恵	H14N		
		菱田 司	元同窓会長	田中 三郎	前同窓会長				

## 支部 (理事総数47名)

東日本支部 11(11)				伊勢志摩支部 15(14)			
支部長	福山 道夫	S41N		支部長	三井 健次	S43E	
理 事	岩田 仁	S38E		理 事	川口 心也	S40E	
	飯島 寿	S41E			溝井 昇	S42E	
	大橋 泰夫	S48N			江崎 隆夫	S44E	
	奥田 宣夫	S48E			濱地 安実	S47E	
	水野 博之	S48N			山口 伸輔	S48N	
	菅原 秀樹	S51N			木下 勝	S49E	
	稲益 義久	S51N			西山 明	S50E	
	星野 芳昭	S52E			畑 辰幸	S51N	
	亀山 真吾	H1E			塩野 明俊	S56E	
	真治 正章	H8N			齋心 俊憲	H1M	
中部支部 6(6)				関西支部 8(7)			
支部長	山川 博之	S53N		支部長	習田 誠至	S55N	
理 事	小林 正司	S43N		理 事	藤本 昌之	S42N	
	宗接万太郎	S48N			村木 国夫	S48N	
	菅沼 延之	S48N			田中 潔	S52N	
	加塚 伸吾	S52E			村田 佳久	S55N	
	山口 淳	S61N		国安 政幸	S58N		
四日市支部 5(5)				西日本支部 2(2)			
支部長	西井 育央	S61E		支部長	中野 正義	S41N	
理 事	室 博也	S55N		理 事	神子 功	S48E	
	待井 健司	H2N					
	伊藤 英樹	H4E					
	西村 崇	H6I					

※会則では理事総数が50名以内となっています。  
※支部で定数を超えているのは支部の会員数が増加している等の理由からです。

## 会則の改定

(オンライン会議の導入に関連する会則改定について以下の案を理事会に上程しました。)

年明けから続くコロナウイルス感染問題で今年の同窓会の理事会・総会は中止せざるを得ない状況となりました。このような事から同窓会事務局でもインターネットによるオンライン会議を採用する事が必要と考え理事の皆様へ提案いたします。

一般的に普及している「ZOOM」というアプリを使って、パソコンあるいはスマホで理事会を開催できることを目指します。当面は、無料のアプリを使用して理事の皆様との通信テストを行います。テストの結果運用できると判断できましたら、無料アプリから有料に切り替えて運用する予定です。無料の場合は、会議時間が、40分に制限されるためです。また有料料金は、月額2,000円であり有用であると考えているためです。

これが使用できれば臨時の理事会や、支部会議も理事の皆様が在宅で参加できます。これに伴い会則の改定が必要であり改定を上程します。

### 改定案

#### 第5章理事会 理事会の開催

会則11条 会長は毎年1回定例理事会を開催する  
2 会長が必要と認めた場合若しくは過半数の理事より要請があった場合は臨時理事会を開催する。

#### 追加改定事項

3 上記1項2項の理事会は、書面又は電磁的記録により開催することもできる  
(理事会の決議)

第16条 理事会における決議は、委任状を含む過半数をもってこれを決し、可否同数の時は議長

の決定による。  
2 財産の処分、その他重要な事項の決定は出席者の3分の2以上の同意を要する。

3 書面又は電磁的記録で開催した理事会の決議は、書面又は電磁的記録により理事が、可否の意思表示を示しこれをもって決議可とする。

#### 理事会の記録

第17条 理事会においては記事録を作成し、出席者、氏名、員数を記録する。電磁的記録、音声記録を可能とする。

※この案は理事会において承認されましたので報告いたします。  
会則改定では赤字の部分が追記事項となります。

# 事務局報告

イ) 会費等の収入向上にご協力ください。会費等の収入については、年々減少傾向にあります。会長以下理事の皆様、全支部が会費納入、寄付、スポンサー広告などの収入向上に協力をお願いいたします。事務局(=伊勢志摩支部)だけの対応では限界があります。

ロ) 事務局は常時同窓会事務室に常駐していませんので、電話での対応がほとんどできない場合が多いとご理解ください。また、学校内の内線電話回線を使用しているために着信の記録が残りませんので、電話をしていただいても折り返しの電話をすることもできません。事務局にお問い合わせ等がある場合は、ファックス又はEメールでお願いします。委託の事務局員は、火曜、金曜日の午前9時30分～14時30分が基本的な在席時間となっておりますが、郵便局私書箱へ郵便物の回収等で不在となることもあります。このような事務局の状況についてもご理解よろしくお願い致します。

ハ) コロナウイルス感染問題で令和元年度の工学科卒業式が大幅に縮小されたため、卒業生の会費納入が非常に少ないこととなりました。また個人情報も集まらず将来、事務局との情報連絡が行き届かない状況となりました。近年は全学科とも新卒者の連絡先登録者が少なくなっている状況で同窓会将来が案じられます。

## 二) 140周年記念事業のご寄付について

事務局では承認されました下記の3事業を進めべく実施委員会を設置して対応しております。その中でも事業の資金源の寄付のお願いを同窓会総会案内で募りました処、多くの同窓会員から寄付をいただいております。誠にありがとうございます。詳細については年度末に報告させていただきますが、先ずはご寄付のご芳名のみを寄付・同窓会費納入一覧の項目で報告させていただきます。これからご寄付をされる予定の皆様年度末まで何卒よろしくお願い申し上げます。

### ①皇太子殿下来校記念碑設置

### ②近藤真琴翁記念碑周辺整備(令和3年3月末完成予定)

### ③船歌CD、DVD作成(令和3年4月末完成予定)

船歌集DVD製作に使用する映像データを募集

します。写真等をデータ化して事務局へメールで送ってください。データ化できない場合は事務局へ写真を送付してください。写真等は返却必要な場合は必ず明記してください。応募された映像が採用されない場合があります、ご承知おきください。詳細は後述参照。

# 支部だより

## 東日本支部 支部長 福山 道夫 (S41N)

### 年間活動報告

同窓会会員の皆様におかれましては、日々ご健勝のことと存じます。この一年を振り返ってみれば、新型コロナ禍に揺れた一年でありました。

当会東日本支部といたしましては、5月の横浜港カッターレースが中止となったのを皮切りに、殉職船員慰霊祭、攻玉社との交流など、また鳥羽商船同窓会本部主催の東京総会も6月に中止に至ったことご存じの通りです。なおかつ、例年10月に実施しておりました支部総会・懇親会も断腸の思いで中止せざるを得なくなりました。

7月下旬という早い段階での判断でしたが、東京都ではその時点で感染者がすでに300名/日を大きく上回っており、早期の終息は見込めないとの理事多数の意見もあり、この様な事態に至ってしまいました。

上記のような次第で今年は何もできなかった一年となりました。したがって、当文面が今年一年の活動報告となります。来年には新型コロナ禍も終息し、従来のような活動を再開して、皆様にお会いできる日を楽しみにしております。

## 中部支部 支部長 山川 博之 (S53N)

### 令和元年度中部支部活動報告

中部支部は例年のように名古屋港に入港本校学校練習船や本校学生が乗船している海技教育機構の練習船への飲み物等の差し入れを中心に活動を行いました。

特に鳥羽丸入港時には現状の学校環境などの情報交換もあり、支部長以下関係者で訪船しました。

### 令和元年

5月15日 青雲丸 飲料差し入れ

8月31日 青雲丸 飲料差し入れ  
 11月8日 鳥羽丸 飲料差し入れ訪船  
 11月22日 銀河丸 飲料差し入れ  
 11月28日 日本丸 飲料差し入れ

5月17日には名鳥会定時総会を開催し、36名の会員出席の元、菅沼本部長より学校の現状のお話をいただき、同窓会の重要性を改めて確認しました。その後の懇親会で旧交を温め、最後に校歌を歌い解散としました。其の後気の合った者同士それぞれ2次会へと散ってゆきました。

令和元年度も恒例のゴルフコンペを2回開催し、S53N森内さん、S58N西尾さんがそれぞれ優勝しました。

2月14日には全船協、海洋会、若葉会の3団体が共催する第六回めいよう会に全船協として酒迎会長と7名の同窓生が参加し、名古屋港で活躍する海に係わるもの同士として大いに懇親を深めました。

2月15日には中部支部役員会を開催、今後の中部支部人事や創立140周年記念行事の件、活動予定を協議しました。

今後も中部支部の活動として、故郷の海を愛する会の名古屋港での開催や、四日市カッターレース、練習船の訪船、懇親ゴルフコンペ等、支部会員とともに同窓会活動を盛り立ててゆきたいと思えます。

なお、令和2年2月よりコロナウイルス感染が広まり、政府より緊急事態宣言が発出されたことを受け、例年5月に行う中部支部総会は中止としました。又、ゴルフコンペ開催も見合わせています。

## 四日市支部 支部長 西井 育央 (S61E)

同窓会会員のみなさまにおかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃は、四日市支部の同窓会活動に大変お力添えを賜り有難うございます。支部を代表いたしまして厚く御礼申し上げます。

まずは、令和2年度の四日市支部総会の開催中止についてですが、2月21日(金)に支部理事会を行い、例年どおり7月の開催を決定しましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響に鑑み、58回目となる同支部総会は中止をさせて頂くこととなりました。(書面決議により決定)

多くの四日市支部会員の皆さまが、同支部総会を楽しみにして下さったことを思いますと、残念で申し訳ない気持ちで一杯です。来年度には、お元気なお姿でお会いできる事を楽しみにしています。

さて、四日市支部の活動拠点である四日市港は、

昨年度、明治32年(1899年)の開港から120周年を迎え、8月3(土)、4日(日)には、四日市港発祥の地である四日市地区(千歳町)で「四日市港まつり」が開催されました。

当日は、第32回カッターレース大会や母校「鳥羽丸」や四日市港管理組合所属の巡視船「ゆりかもめ」等による体験航海に加えて、練習船「海王丸」の一般公開や冷凍冷蔵用のリーファーコンテナでマイナス20度を体験するイベントなど、開港120周年を記念した様々な企画が催され、多くの人で賑わいその中でたくさんの同窓の皆様のお顔を拝見しました。

また、「鳥羽丸」で来港された現役学生は、例年カッターレース大会の運営スタッフとして、我々OBとともに参加いただいておりますが、酷暑のなか盛大に開催される大会の進行に、学生・OB同窓相互が頑張っ一緒に汗を流し、強い絆が確認される、大変有意義な機会であると感じております。

なお、令和2年8月23日(日)に開催を予定していましたが「四日市港まつり」(第33回カッターレース大会)についても、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開催は中止となりました。

例年参加いただいている同窓の皆様には、大変残念ではありましたが、なにとぞご理解いただきますようお願いいたします。

最後に、会員の皆様のご活躍を祈念して四日市支部の活動報告とさせていただきます。

## 伊勢志摩支部 支部長 三井 健次 (S43E) 令和元年度伊勢志摩支部活動の報告

(この報告は本年6月の理事会用の報告です)

1. 同窓会定期総会開催 幹事支部(6月2日 鳥羽国際ホテル)  
 定期総会後の懇親会に伊勢志摩支部から特に若手に多数参加して頂くために、総額¥200,000を補助し多数の参加を得た。
2. 商船学科卒業式出席(2019/9/23) 卒業生同窓会会費納入促進プレゼンを行う。  
 工学科卒業式は(2020/3/15) コロナウイルス感染対策の為大幅に縮小し挙行された。伊勢志摩支部からの出席は無かった。
3. NPO法人故郷の海を愛する会への協力と助成金¥20,000を支給。  
 年度末に同会が赤字となった場合多少の追加助成に応じるとしていたが、7万円程度の赤字となったので、来年度¥50,000の助成金を予算計上し補填する。

4. 校祖近藤真琴翁の業績を地域の人に知ってもらう活動の一環として、目的を同じとする団体に協力し積極的に進めていく。  
アサギマダラを呼ぶ草花フジバカマを挿し木、株分け、苗木育成、海学祭にて記念館に展示し、「アサギマダラを呼ぶプロジェクト」を紹介した。賛同者から苗木株分けの依頼があった。
5. 同期会開催奨励金制度利用は3件であった。
6. 海学祭へ¥50,000の寄付と模擬店出店協力
7. 伊勢志摩支部懇親会開催 (2/1)  
20名程度の参加があり懇親を深める。

### 令和2年度の活動計画

1. 同窓会定期総会開催 東日本支部  
6月7日予定であるが、コロナウイルスが沈静化しているか、現時点では開催が危惧される。
2. 卒業式出席 卒業生同窓会会費納入促進プレゼンを行う。(2回)
3. NPO法人故郷の海を愛する会への協力、昨年度の赤字補填助成金¥50,000とする。  
今年度末に同会が赤字となった場合多少の追加助成に応じる。
4. 校祖近藤真琴翁の業績を地域の人に知ってもらう活動の一環として、目的を同じとする団体に協力し積極的に進めていく。  
「アサギマダラを呼ぶプロジェクト」フジバカマを10個のプランターに株分けし育成中。「アサギマダラを呼ぶプロジェクト」を進める為¥20,000を予算計上する。9月中旬の開花時に百周年記念資料館前近藤真琴記念碑敷地内に移動する。
5. 創立140周年記念事業への協力
6. 同期会開催奨励金制度は継続する。  
年間5組総額¥100,000の予定
7. 海学祭への寄付と模擬店出店協力
8. 伊勢志摩支部懇親会開催

### 関西支部 支部長 習田 誠至 (S55N)

#### 1. 支部総会・懇親会

例年、12月に開催していた支部総会・懇親会は、幹事の都合がつかなかったため、本年3月に開催すべく準備を進めておりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡散のため、会員皆様へのご案内寸前に延期することといたしました。

本年の開催について、同感染症の終息及び大阪府、兵庫県の自粛要請をみながら、開催を検討したいと考えております。

開催の場合、あらためてご案内いたします。その時を楽しみに、できる限りのご参加をお待ちします。

#### 2. 支部活動

現状、特に同窓会活動ができておりませんが、自粛要請が緩和されましたら、幹事会を開催し、何ができるかを検討いたします。

### 西日本支部 支部長 中野 正義 (S41N)

至って広域ではありながら、小規模支部会員数が当支部の特徴ではありますが、本年度の活動実績と次年度の計画を、次の通り報告致します。

#### 【実績】

- \*平成31年4月20日 “長崎帆船祭り” 視察 (長崎／有志)
- \*令和元年5月22日 支部理事会(福岡天神／2名)
- \*令和元年6月2日 同窓会本部理事会・総会・懇親会出席 (鳥羽／支部長・神子理事)
- \*令和元年7月6日～7日 支部総会・懇親会 (下関／17名)
- \*令和元年9月8日 支部長会議 (名古屋／神子理事)
- \*令和元年10月22日 支部理事会(福岡天神／2名)
- \*令和2年1月18日 支部新年会 (福岡天神・花万葉／7名) (\*令和2年3月28日～29日 支部総会の計画であったが、“コロナ”問題で延期)
- \*令和2年3月4日 支部理事会(福岡天神／2名)
- \*令和2年4月23日 (～27日) “長崎帆船祭り” 視察 (長崎) →11月に延期となったが、最終的にコロナにて中止
- \*令和2年4月17日 支部総会 (福岡天神／2名)
- \*令和2年6月7日 同窓会本部理事会・総会・懇親会出席 (東京／支部長・神子理事) →中止

#### 【計画】

- \*令和2年6月～7月～ 支部総会・懇親会 (下関)  
←日程未定 @@@→コロナにて中止の見込み
- \*令和3年1月 支部新年会

@@@ 関門海峡を眺めての露天風呂、汽笛の間こえる“下関海峡ビュー”での懇親は如何でしょうか？他支部の方々の御参加も歓迎ですので、中野又は神子に御連絡下さい。

R2.8.14 訂正・追記

## ◆新型コロナで活動休止

鳥羽商船同窓会伊勢志摩支部の有志が立ち上げた故郷の海を愛する会は活動12年目となりました。

三重県の中南勢地区では恒例?の行事となり、今年も4つのイベントを計画していましたが、新型コロナの流行があり、誠に残念ですが、7~8月に計画していた3つのイベントは中止としました。

## ◆令和元年度事業報告

令和元年度の活動は当初計画通り、無事に実施することが出来ました。多くの応募があり、又、募集対象としている三重県の中南勢地区以外の北勢地区や県外からの応募があり、活動の広がりを喜んでいます。

ただ、収支について、令和元年度は日本海事センターの助成が頂けなくなったので、新たに日本海事広報協会からの助成を頂いたり、皆さんから多くの寄付を頂きながら赤字決算となりました。

昨年度の同窓会報に掲載した活動以降について以下の通り活動紹介します。

**2019年8月20日**

### 四日市港見学と火力発電所見学

津市と鳥羽市で集合し、バス2台で四日市市に移動し、四日市港を見学、船が運んできたLNGを焚いて発電する川越火力発電所や電力館テラ46の見学をしました。



にわか雨の天気予報があたり、途中一時強い雨に降られましたが、あまり濡れることも無く無事に終了することが出来ました。参加した小中学生は82名でした。

このイベントの目的として、

- ・船に乗って港の大型船の荷役風景をまじかに見学
- ・潮吹き防波堤のしくみを見学、人の智恵と努力を知る
- ・うみてらす14で港の様子や港の仕事を学習
- ・電力館で電気エネルギーや将来の環境への取り組みを学ぶ
- ・火力発電所をバスにて見学、その仕組みや施設の大きさを体感

・活動中に初めて会った子と会話して、お互いを知り友達になる機会を作る

でした。参加した子供達が船や海を知り、親しみ、将来の夢を育む良い機会になったと思います。

**2019年10月27日**

### 鳥羽商船高専の海学祭で活動紹介

鳥羽商船高専の海学祭で故郷の海を愛する会の活動紹介、校祖「近藤真琴」紹介を行いました。

百周年記念館で行いました。



### 「アサギマダラを呼ぶ」プロジェクト

海学祭では伊勢志摩支部と協力して「アサギマダラを呼ぶ」プロジェクトの紹介もしました。

毎年秋に日本の北の方から遠くは2,000kmも離れた南の島に渡りをする蝶、アサギマダラが南下する旅の途中で、食草

の一つであるフジバカマを求めて飛来します。そのフジバカマを育ててアサギマダラを呼ぼう！と。



発起人である伊勢志摩支部長のフジバカマ畑には多くのアサギマダラが飛来しました。そのフジバカマを分けて頂き、



2020年に数名の会員がフジバカマを育てています。今年の秋には、あちこちでアサギマダラが見られることでしょう。

**2019年12月14日**

### もうすぐクリスマス、遊んで学ぼう。

#### 商船学校の歴史と船と海の話

青空が広がり気持ちの良い日となりました。54名の小中学生の参加を得て活動しました。このイベントは故郷の海を愛する会の活動開始以来の恒例のイベントです。

今年は中部運輸局の鳥羽海事事務所所長さんに海や船の話をして頂き、鳥羽商船高専の練習船鳥羽丸の船長と機関長に商船学校の話や船の歴史の話をし

て頂きました。工業系の先生に「ロボットを創るために必要な物」の話もして頂きました。



体験活動としては操船シュミレータやエンジンの起動体験、3Dプリンターを使ったり、ロボコンに参加したロボットの操作体験などを楽しみました。

### ◆令和元年度収支

事業費のほぼ半分は海事関係の団体からの助成金で賄いました。これ以外に日本船主協会には保険関係で負担して頂いています。残りの半分は自己資金として、同窓会を含み、皆さんからの寄付、故郷の海を愛する会の会費、子供達の参加費で賄いました。

事業費の支出合計は約¥2,029,000となり、当期の収支では約¥70,000の赤字となっています。

支出の内訳はイベントに使うバス代や昼食代、報告書代などであり、主催者、ボランティアへの人件費はありません。

2019年度 事業収入	金額	%	
参加費	226,000	12%	49%
会費	90,000	5%	
寄付	468,000	24%	
鳥羽商船同窓会	160,000	8%	
鳥羽商船同窓会伊勢志摩支部	20,000	1%	
日本中小型造船工業会	370,100	19%	51%
全日本海員組合	400,000	20%	
山縣記念財団	100,000	5%	
日本海事広報協会	124,560	6%	
合計	1,958,660	100%	

故郷の海を愛する会の団体情報は以下からご覧いただけます。

[URL http://fields.canpan.info/organization/detail/1882169442](http://fields.canpan.info/organization/detail/1882169442)

又、活動報告等は以下からご覧いただけます。

[URL http://blog.canpan.info/umiwoaisurukai/](http://blog.canpan.info/umiwoaisurukai/)

### ◆令和2年度事業計画

従来に倣い今年度は4つのイベントを計画し、日程も決まっていたのですが、先に述べていますように、今年度は新型コロナの流行があり、参加者の感染防止の為、7、8月に計画していたイベントは中止しています。

当初の計画は以下のとおりでした。

第1回 7月29日 募集90名

JMU津造船所見学と鳥羽商船高専の練習船で

体験航海 その①

第2回 8月5日 募集90名

JMU津造船所見学と鳥羽商船高専の練習船で  
体験航海 その②

第3回 8月19日 募集90名

伊勢湾フェリーに乗船し、伊勢湾海上交通センターの見学

第4回 12月12日 募集50名

もうすぐクリスマス。遊んで学ぼう。商船学校の歴史と船と海の話

イベントでは参加者はバスや船に乗ったり、教室などで話を聞いたりします。コロナ感染予防のためにマスクを着用していても、いわゆる3密を避け感染防止するのは非常に難しいと考え、7、8月の活動中止としました。

主催者、ボランティアの多くが高齢者でもあるので、感染すれば重篤になる人が多いと聞いており、それを避ける為でもあります。

この原稿を書いている7月末では、コロナの第2波が来ているようで、感染が全国に拡散しているようです。このような状況から、秋には何とかイベントを開催したいと考えていたのですが、コロナ感染防止の為に、今年中の活動は中止しようと思います。

皆さんも、コロナに感染しない様、体調管理し、マスクを着用し、手洗い消毒に努めて下さい。

### ◆最後に

今年は活動休止となりましたが、コロナが落ち着けば、活動を再開したいと考えています。

その際には、ご寄付などご協力をよろしくお願い申し上げます。カンパん決済サービスを利用して一般からの会費・寄付を募ることを始めました。同窓生からの寄付はもちろんお願いしますが、知り合い・関係団体に紹介して下さい。

[URL https://kessai.canpan.info/org/furusatoumi/](https://kessai.canpan.info/org/furusatoumi/)



# 学校だより

年間行事（歴順に掲載）

## 第48回商船学科卒業証書授与式並びに 第12回専攻科（海事システム学専攻） 終了証書授与式を挙行

令和元年9月23日(月・祝)、第48回商船学科卒業証書授与式並びに第12回専攻科（海事システム学専攻）修了証書授与式を挙行了しました。当日は台風17号の影響による悪天候が心配されましたが、式が始まる頃には突き抜ける青空が広がり、盛會に挙行することができました。

式では、林校長から商船学科卒業生30名に卒業証書、専攻科（海事システム学専攻）修了生2名に修了証書が手渡された後、「友達を大切に、自分の命、家族の命、周りの人々の命を大切に、今後取り組むべき仕事で社会に貢献されることを祈念いたします。恐れずに弛まらずに、希望という輝く星に向けてそれぞれの針路をセットしてください。」と式辞が述べられました。

式の最後に、白い制服姿の卒業生全員が一列に並び、在校生に向かって「ごきげんよう」と挨拶し、帽子を宙高く投げる伝統の別れのパフォーマンスを行い、晴れ晴れとした姿で学び舎から巣立っていきました。



## 令和元年度専攻科（海事システム学専攻） 入学式

専攻科（海事システム学専攻）2名を迎える入学式が10月1日(火)に挙行了しました。

林校長から「柔軟な思考力と応用力を身につけ、国際的に活躍できる広い視野とリーダーシップを備えた人間に成長して欲しいと思います。」と祝辞が述べられた後、新入生代表から「島国である日本にとって不可欠である海運業界を担うべく、国際的に通用する能力を身に付け、日本を支えることのできる立派な海技従事者を目指して日々邁進していきたいと思います。」と挨拶がありました。

新たな門出を迎えた新入生たちは、希望に満ち溢れた表情で会場を後にしました。

## 令和元年度電子機械工学科・制御情報工学科 卒業式並びに生産システム工学専攻修了式を 挙行

令和2年3月15日(日)、令和元年度電子機械工学科・制御情報工学科卒業証書授与式並びに生産システム工学専攻修了証書授与式を挙行了しました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の流行を鑑み、規模を大幅に縮小したものとなりました。林校長から電子機械工学科32名、制御情報工学科39名及び専攻科生産システム工学専攻7名の代表者へそれぞれ卒業証書と修了証書が手渡されました。林校長は卒業生らに対し、「卒業、修了する皆さんが、高専生活での学びや経験を貴重な財産として、鳥羽商船高専のプライドを持って、味わい深い人間に育ち、幸せな人生を送られることを、また、本校が「世界に羽ばたく鳥羽商船高専」として、益々発展することを祈念して、私の挨拶とします。」と祝辞を述べられました。

## 各種コンテスト

### 全日本ソーラー & 人力ボートレース大会2019にて 学生総合優勝及び自己新記録達成

令和元年8月24日(土)・25日(日)の両日、全日本ソーラー & 人力ボートレース大会2019が、愛知県碧南市の勤労青少年水上スポーツセンターにて行われました。本校では商船学科の学生を中心にボートの設計から製作までを行いこの大会に出場しています。

レースの結果は新しいプロペラの性能が良く、7.89ノットという自己新記録を達成することができ、昨年に引き続き「学生の部総合優勝」と素晴らしい結果を達成しました。

## 全国高専プログラミングコンテスト 優秀賞受賞

高専機構連合会が主催する全国高等専門学校第30回プログラミングコンテスト（都城大会）の課題部門において優秀賞（2位相当）を受賞致しました。

受賞した「とばまっぷ」は、鳥羽市役所と連携し、将来の人口の変動などに対応して、最適な公共施設のあり方を検討するためのツールとして利用可能なWebアプリケーションです。

今回、「とばまっぷ」を作成したチームは、NAPROCK国際プログラミングコンテストに推薦される予定です。

## 高専ロボコン2019地区大会 ベスト4・デザイン賞受賞

アイデア対決全国高等専門学校ロボットコンテスト2019東海北陸地区大会が、令和元年10月20日に愛知県刈谷市のウィングアリーナ刈谷メインアリーナで行われました。

決勝トーナメント初戦（準々決勝）でまさかの同校対決となり、鳥羽商船高専A（ロボコン部）3－8鳥羽商船高専B（M5卒研）と、5年生の底力を見せました。

続く準決勝では、岐阜高専Bに4－4同点ながらも判定で敗れ、ベスト4となりました。Bチームはベスト4に加え、デザイン賞を受賞しましたが、全国大会出場は惜しくも逃しました。

## パソコン甲子園でベストアイデア賞を受賞

令和元年11月9日（土）、10日（日）に会津大学（福島県）で開催されたパソコン甲子園のモバイル部門でベストアイデア賞（2位相当）を受賞いたしました。

## 第8回高校・高専気象観測機器コンテストにて 最優秀賞、優秀賞を同時受賞

令和元年12月23日（月）、一般財団法人WNI気象文化創造センターにより開催された「第8回高校・高専気象観測機器コンテスト」において、制御情報工学科5年生と4年生、4年生と3年生から構成される2チームが、本選参加31チームの中から最優秀賞（全国1位）、優秀賞（全国2位）を同時受賞しました。同コンテストでは2年ぶり3回目の最優秀賞受賞となりました。

## 注目クラブ活動

### 令和元年度 三重県優秀選手・指導者表彰を受賞

令和2年1月7日（火）、本校少林寺拳法部員と顧問が三重県教育委員会より「令和元年度三重県優秀選手・指導者表彰」を受賞いたしました。



## 学生会活動

### 三重県鳥羽警察署長より感謝状を授与

令和元年12月20日（金）、本校の学生会から校長へ、三重県鳥羽警察署長より感謝状を授与して頂いた旨の報告がありました。

感謝状は、三重県鳥羽警察署から今年一年間に警察の業務に協力した個人や団体に対して贈られるものです。今年は、本校の学生会を中心に実施した交通安全運動に対し、授与して頂きました。

### 同窓生の本校教職員

齊心	俊憲 (H1N)	鳥羽丸船長
大野	伸良 (S56E)	鳥羽丸機関長
富山	貴史 (H18N)	鳥羽丸一等航海士
山野	武彦 (H10E)	鳥羽丸一等機関士
小島	知恵 (H14N)	商船学科准教授
出江	幸重 (H3M)	情報機械システム工学科教授
江崎	修央 (H4M)	情報機械システム工学科教授
中井	一文 (H16I)	情報機械システム工学科准教授
竹内	晃輔 (H7I)	学生課専門職事務職員
宮崎	政志 (H8M)	総務課施設係長
吉岡	裕也 (H16E)	テクノセンター技術職員
濱口	沙織 (H17I)	テクノセンター技術職員
三重野	崇亮 (H23I)	テクノセンター技術職員
金子	将也 (H22E)	鳥羽丸技術職員

## 「高専DCON2020」受賞！

第1回全国高等専門学校 ディープラーニング  
コンテスト2020 (以下DCON2020)

### 『KDDI賞 コノカミノルタ賞』受賞

先日8月22日(土)にリモート開催されたDCON 2020に、母校学生で構成された2チームが出場しました。

母校チーム『NIT TOBA,SiraishiLAB』がDeepLearningを用いた高品質カンキツ育成支援システムにて『KDDI賞 コノカミノルタ賞』を受賞しました。

本コンテストは、技術審査の評点とプレゼンテーション審査を加味し、ベンチャーキャピタリスト審査員が決める企業評価額によって最優秀賞が決まります。仮想通貨を用いた評価方式になっており、企業評価額と投資総額により評価されます。

『NIT TOBA,SiraishiLAB』は、企業評価額5億円、投資総額7,000万円となり、『最優秀賞・若手奨励賞』を受賞した東京工業高等専門学校 プロコンゼミ点字研究会「:::doc (てんどっく)」の企業評価額5億円、投資総額1億円に続き、2番目に高額の評価をいただきました。

また、母校学生チーム『ezaki-lab』の鳥羽市を対象とした旅行プラン提供サービスも、企業評価額1億円、投資総額3,000万円の高評価を得ました。

コロナウィルス禍中、益々求められる技術力の向上、輝かしい未来にさらに期待しています。



## 会員の投稿



### 西日本支部新年会開催 令和2年1月18日 神子 功 (S48E)

去る1月18日18時に福岡天神の花万葉で、有志による新年会を開催しました。今年で3回目になります。参加者は三角さん(S32E卒)、福岡さん(S33N卒)、佐野さん(S33E卒)、加藤さん(S35E卒)、中野さん(S41N卒)、神子(S48E卒)、河本さん(S51N卒)の7名でした。昨年参加された山下さん(S41E卒)、柴田さん(S56E卒)は、所用の為欠席となりました。又、野村さん(S42N卒)は、病気の為欠席となりました。

冒頭、中野支部長から1年後に鳥羽商船創立140周年を迎えるにあたって、同窓会として記念行事を開催の計画があると説明。本来、節目の150年の計画であったのですが、現在の事務局及び全寮制を経験している卒業生の高齢化、又、昨年皇太子殿下の本校行啓の名誉等を鑑みて、菅沼会長より提案があったとの話でした。最年長参加の三角さんの乾杯の元、懇親会は始まりました。昨年、佐野さんの奥様が逝去され参加されるか心配しましたが、元気な姿で安心しました。廻りの方から寂しいでしょうと聞かれても思ったより寂しくないと言われましたが、そこは強がりと言われていると思いました。三角さんから、西日本支部の同窓会活動に尽力された山田さん(S44E卒)の話聞き懐かしく思いました。

最後に今年の西日本支部総会を3月28日(土)に下関の海峡ビューホテルでの再会を約束して、20時半に散会しました。西日本支部の方々の追って案内を送りますが、支部総会の出席の検討、ぜひよろしくお願いします。

## 第27鳥羽商船バレーボール部 OB会の開催

中井 一文 (H16I)

令和元年11月16日に第27鳥羽商船バレーボール部OB会を開催しましたのでご報告します。

鳥羽商船バレーボール部は本年をもって設立から50年が経ちました。

設立当初は体育館を借りられず、第一体育館の横に土を敷き、ネットを張って練習していたそうです。これまでのOB/OGの活躍もあり、高専大会全国大会に出場した経験もあるほどの盛んな部活動になりました。

聞き及ぶ限り、本校の部活動でOB会を毎年開催しているのはバレーボール部だけとなったようです。バレーボール部及びOB会の設立当初から支えて下さっている舟橋教官をお招きし、懐かしい思い出から現役部員の総評まで、時間の許す限り語らうのがOB会の定番となっています。

当日は、朝からOB会の総会、昼間は現役とOBとの交流戦、夜はOBの懇親会を行いました。

昼夜合わせて26人のOBが参加してくれました。



## 海洋調査船のpros&cons

宮本 恭夫

昭和57年 航海科卒

神戸汽船を緊雇対で辞めてから35年、東京でサラリーマンをしていたのですが、50歳を過ぎてから「ま

た海に出たい。南太平洋の島々を巡るヨット旅がしたい。」思いが募る。そこに3.11大震災。自宅まで徒歩帰宅するうちに心を決めました。

終の住処ログハウスを建て、マンションを売って、仕事を辞めてヨット三昧の生活にシフト。中古ヨット整備と奥様との操船練習を経て2017年1月に小笠原で出国。

URL <http://blog.livedoor.jp/penguinparade/archives/2016-11.html>

グアム、サイパン、ミクロネシア、ニューギニア、オーストラリア、インドネシア、マレーシアと進みタイでエンジンが故障。日本で海洋調査船の仕事をしながら休暇中にヨット整備をしていたのですが、そこにコロナ禍。

2017年から海外ヨット周遊の旅に出ていたのですがタイで長逗留。今年はコロナで海外に出ることも儘ならず、資金稼ぎのため海洋調査船で働いています。(その辺りの経緯はこちら)

URL [http://blog.livedoor.jp/penguinparade/archives/cat\\_1253719.html](http://blog.livedoor.jp/penguinparade/archives/cat_1253719.html)

調査船は商船の方には馴染みが薄い分野かと思いますがサンエイマリン(株)の海洋調査船で経験してきたことをご紹介します。

### どのような調査をしている？

- 水産資源の漁獲量割当を決めるための基礎データとしてサンプル捕獲。魚種はイカ、サンマ、タラ、カニ。
- 南氷洋での調査捕鯨船団に加わりオキアミの生態調査。IWC脱退後は近海での鯨類目視調査。
- 沖合ブイ設置設計や鉱物資源開発のため3D海底地形図を作成、海底地質サンプルの収集
- 海底地震計の設置と回収
- 地震計補正のための模擬振動発生
- 大規模海上施設建設による海洋生物の生体変化を確認するため海底サンプルを収集



写真1

- 火山性新島や遠隔領土の状況調査
- テレビ局の製作スタッフと芸能人を乗せて離島の撮影をしたことも過去にはあったようです

### 職務は？

XBT/XCTDなど本船で完結する調査もありますが、基本的に乗組員は船の運航と調査機材の吊り上げを担当し、サンプルの選択やデータ保管・解析は「お客様」として乗船した調査員や依頼主が行います。調査船では機材を海中に入れる作業が多いため甲板部では水産系の経験者が重宝がられます。然しながら操縦性能制限船や運転不自由船となることが間々あり、外船とのVHF交信では商船系が目躍如。

### 船は？

官庁や大学の中古船（写真1：元・東京水産大学の練習船）ばかりですが、主機は可変ピッチ翼でバウラスターが標準装備。無人潜水艇を装備した船には定点保持機能もあります。前後スラスタや舵角70度までできる船もあり、35年前に外航貨物船を降りた者にとっては目新しいものでした。（写真



写真2

2：船尾にAフレームが装備されているのが調査船の特徴)

海中から機材を引き上げるために調査船のデッキは低く設計されています。高さを抑えるため主機2台で1軸という船もあります。



写真3

### 船員は？

様々なバックグラウンドの乗組員がありますが一致した意見として「調査船は停泊が長く便利の良い岸壁に着くことが多い」。

新卒の船員もいるのですが年金貰える年代の船員もかなりいて私などはまだ若造の部類。

女性船員もいます。依頼主や調査員として女性が乗船してくることもよくあります。時代は変わったものですね。

### 生活は？

居住区掃除は当番制、食べた食器は自分で洗う、自室の掃除とベッドメイクは自分でやる等、練習船時代を思い出させる生活です。

制服が支給されますがそれは作業服。肩章はありません。

従来、海洋調査を行う船は官庁や大学所有のものでしたが近年民間の海洋調査会社の業務量が増えています。その理由は、所謂お役所の船は運用に柔軟性を欠く面があるうえコスト高、尚且つ震災や国土保全のために海洋調査の需要が増えているそうです。今後、海外に行ける大型船を導入する計画もあり、よりいっそう船員数が求められています。ご興味おありでしょうか？

## 学んだ知識をフル活用

### 黒 勇旗

平成2年 電子機械工学科卒



卒業して30年経ちましたが、いまでも電子機械工学科で学んだ知識をフル活用して仕事に取り組んでいます。

私の仕事は、スマホなどに使われる部品の製造方法開発です。常に、前作よりも安くて高品質な製品を世の中へ提供し続けるために、頭をひねる毎日です。開発の基礎となっているのは、学校で習った材料力学や流体力学などの知識です。学生時代は、授業に付いていけずに困ることも多くありました。そんなとき、ある教官から言われた一言が救いになりました。「ここで習ったことが、そのまま仕事に役



立つかは分からない。しかし、困ったときにどの教科書を開けばいいかを知っているということは、とても役に立つと思う」という内容でした。

では、具体的に教科書をどのように活用しているかをご紹介します。

私が開発している製品は、アプリのプログラムを収納したり、画像や音楽を保存する「メモリ」と呼ばれる部品です。スマホを買う時に、メモリ容量を32GBにするか64GBにするかで悩んだ経験があると思います。

両者の違いは「メモリ」を構成する半導体チップの数で、後者は前者の2倍のチップを使います。チップ数が2倍になると「メモリ」の価格は2倍になり、それがスマホ本体の価格差を決定づけています。チップ数は2倍になるのですが、スマホ本体の大きさは変わりません。従って、チップ数を2倍にするには、チップの厚みを半分にするしかありません。これを実現するのが私の仕事です。

半導体チップは、ガラスと同じ成分 ( $\text{SiO}_2$ ) でできていますのでとても割れやすく、慎重に取り扱う必要があります。厚みが半分になると、どれくらい割れやすくなるかを知るには、材料力学で習った両端支持梁の公式を使います。 $\sigma = M/Z$ です。式を展開すると、 $\sigma$  (曲げ応力)  $\propto PL/bh^2$ となり、チップの割れやすさは、チップ厚み  $h$  の二乗で効いてきます。つまり厚みが半分になるということは、チップの強度が1/4になるということです。かなり厄介です。

また、この薄いチップを積み重ねて電氣的に接合するときに、金や銅を使います。これらの金属は融点が高いので、溶かさずに接合する方法を使います。金属材料で習ったかもしれない固相拡散という方法です。

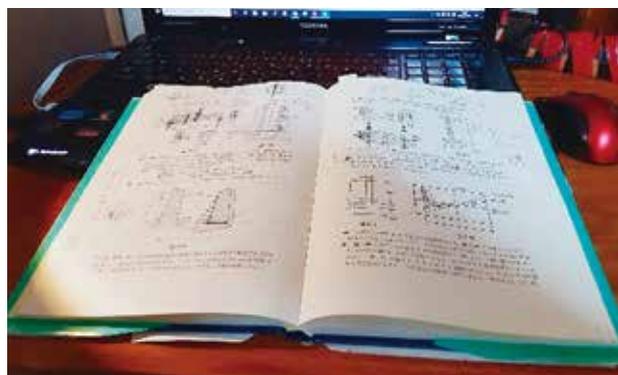
接合部は、熱硬化性樹脂で保護します。使う材料はホームセンターで売っている2液性のエポキシ接着剤のようなものです。何段にも積み重なったチッ

プを型に入れ、樹脂を流し込んで熱で固めます。このとき、樹脂中に気泡ができたり、接合部に無理な力が働かないように樹脂の流れを制御するには、流体力学の知識が必要となります。樹脂が固まったあとは、チップ ( $\text{SiO}_2$ ) と樹脂 (ガラエポ) の異種材料間で発生する熱応力に悩まされます。

適切な樹脂材料を選定するには、化学の知識が欠かせません。また、製品の電氣的特性は、電氣や電子の知識も必要です。

このようにして完成した製造方法は、既存の装置で量産できないことがあります。そんなときは、新しい製造装置を作ります。装置設計には、前出の教科書の他に機械設計という教科書が活躍します。

このようにして、卒業してから30年間、色々な教科書に助けられて仕事を続けてきました。



## クラス成績ワースト10 常連の現在

### 中村 旭和

平成19年 制御情報工学科卒



#### 1. 自己紹介

中村 旭和 34歳

2007年 鳥羽商船制御情報工学科 卒業

2007年 美和ロック株式会社 入社  
生産技術部 生産技術課 配属

2008年 生産技術部 治工具課へ異動

現在「プレス金型設計者」として日々図面と格闘中

#### 2. 入社面接から現在に至るまで

私が入社面接を受けたのは2006年6月27日でした。なぜここまで覚えているのか？私の誕生日だったからです。当時の私はその場しのぎでなんとかな

ってきた感が強く、面接も練習はしましたが、最初の質問である志望動機が緊張して上手く話せませんでした。面接のスタートでこけましたが、自分が学生時代に一生懸命してきたアルバイトの事を話す流れとなり、「根性と勢い」がアピールでき採用していただけたのかな？と当時の私は思っていました。

入社後は研修を受けたのち、約1年間、三次元測定機や画像測定機などの各種測定機を使用し、部品が図面通りにできているのかを検査する業務に従事していました。翌年から金型部門である治工具課へ異動となり、現在のプレス金型設計者のスタートとなった年でありました。



一般的な順送プレス金型の下型

入社するまでは「鍵」を作っている地元企業の名どころという認識しかありませんでしたが、扉や引き戸の鍵だけを作っているのではなく、窓の金具や、鍵を差し込んで回すシリンダーの内部部品、扉の内側に入っている機構部品など「錠前」全般を製造していることを知りました。また近年は、IoTを活用したアクセスコントロール製品など、防犯性能だけでなく日々の暮らしの中で利便性も追求した製品開発などにも力を入れている会社です。もっと学生時代に制御情報工学科で学べる専門知識を学んでおけば、今の自分とはまた少し違って、面白かったのかな？と思う時もあります。

製図やパソコンが苦手な私でしたが、今では実際に「ものづくり」をする最初の部署で設計～製造～テスト調整などを繰り返して、やりがい・面白さを実感できる毎日を送っています。たまに上司から「根性と勢い」は一級品だと言われたりもしています。

そんな毎日のなかで、ふと困った時などに頼りやすいのは、やはり鳥羽商船卒業生の会社内でのネットワークです。(以下 美鳥会) 派閥や学閥は個人的にあまり好きではありませんが、同じ学校を卒業し育ってきた環境が似ているせいか気が合う方が多い

のも事実としてあります。学生時代の言葉でいうとノリが良く、上下はありますが仲の良い仲間がたくさんいます。そんな方々と仕事を進め、同じように達成感を感じたり、笑い合えたりするのは美しい鳥羽商船の会「美鳥会」の存在が大きいです。面接のスタートでこけた私が入社できたのは、この先輩方の会社での活躍があったに違いないと今ではよく思います。そんな会社や先輩方に、私も恩を返すべく日々金型の設計に限らず技術力を磨き、まだ見ぬ先輩たちの少しでも力になればと思います。

### 3. 同窓会報への寄稿にあたり

タイトルの通り、決して良い成績ではなかった私ですが、突然の一通のメールにより今回の原稿を提供することとなりました。なぜ私が？と思いましたが、せっかくの機会なので微力ながら協力することにしました。私をご存じではない方には、こんな「根性と勢い」で会社に就職して楽しく仕事しているやつもいるのだな～とだけ思っただけで幸甚です。私をご存じの方は、ぜひとも同窓会費を少しでも納めていただければと思います。同窓会報を見て懐かしくもあり、ほっこりしているそのあなた！またお会いした時の話題の一つになればこれまた幸甚です。このような機会を設けていただいた江崎教官に感謝いたします。ありがとうございました。

## SMA鳥羽丸トレーニング2019に参加して

### 遠藤 正文

商船学科航海コース 現5年生

9月11日から18日に行われた、SMA鳥羽丸トレーニングに参加しました。

7年前から始まった本プログラムは、練習船を持っていないSMA (Singapore Maritime Academy) の学生が、鳥羽丸に宿泊し、練習船実習やカッター実習を行うものです。8日間のプログラムの後半には、鳥羽や伊勢でのフィールドワークや名古屋観光で日本文化にも触れます。本校学生は、SMA学生の実習や日本での滞在をサポートし、英語でのコミュニケーションを通じて英語力向上とシンガポール文化との交流を図ります。

本年度は、SMA学生11名、引率教員1名が来日

し、本校からは1から5年生、11名がサポートメンバーとして参加しました。多くの1・2年生や電子機械工学科の学生も参加してくれたことは嬉しい限りです。

私自身は、2年生の時に参加して以来、2度目の参加でした。今回は右も左も分からず、英語もろくに話せない中で、専攻科生や5年生の先輩方に導いていただきました。その恩を返したいという思いから、今回は最上級生として皆を導くつもりで参加しました。

ここでは、前半の鳥羽丸実習を中心に綴らせていただきます。



プログラム初日、まずは百周年記念会館を見学し、その後、鳥羽市長を表敬訪問しました。百周年記念会館の見学は本校学生にとっても貴重な経験で、SMA学生共々、珍しい展示物に関して質問しておりました。皆、本校138年の歴史に感心した様子でした。夜には、歓迎パーティーが潮騒会館で開催されました。初めは緊張とよそよそしさが見られましたが、美味しい食事に後押しされ、すっかり打ち解けて話も弾んだようでした。

2日目、本格的な実習が始まりました。午前中のホースハンドリングでは、慣れない作業と水の勢いに、ホースから手を放してしまう子もいました。そんな失敗も含めて良い経験になったでしょう。午後



からは鳥羽丸で3時間の伊勢湾航海を行いました。各部署での出入港作業や当直など実際に船を運航するからできる作業に熱心に取り組んでいました。

3日目は悪天候で、残念ながらカッター実習は中止となりましたが、「あさま」で航海に出ました。揺れが強かったのですが、前日の鳥羽丸での穏やかな航海とは一味違う航海を楽しんでいました。午後は体育館に移動し、歌やSMAダンス等の出し物を通じ文化交流を深めました。夕飯には鳥羽丸でお好み焼きパーティーを開催しました。SMA学生は自ら焼いてみたり、楽しんでもらえて嬉しかったです。準備、片付けに協力いただいた教官、学生に感謝します。



4日目はフィールドワークで鳥羽と伊勢を、5日目から7日目は名古屋を観光しました。ミキモト真珠島、伊勢神宮、トヨタ産業技術記念館、名古屋港水族館、名古屋城などSMA学生は観光をととても楽しんでいましたが、もっと鳥羽丸で過ごしたかったと言う子もおり、彼らにとって有意義な体験を提供できたことが嬉しかったです。

8日目、SMA学生を見送る際には、本校学生もSMA学生も涙し、皆、別れを惜しみました。私自身は皆を導くつもりで臨みましたが、まだまだ至らない点が多く、残りの学生生活で成長する必要性を改めて感じました。また、本校に練習船があることを当たり前に思っていたのですが、SMA学生の言動から、鳥羽丸のありがたみや学習環境に恵まれていることを再認識させられる8日間でした。なかなか、8日間で英語力を向上させることは難しかったと思いますが、後輩達が本プログラムを通じて、英語でのコミュニケーションや文化交流の楽しさを知り、今後の学習意欲に繋がってくれば幸いです。そのような観点からも、本プログラムは本校学生に対し有意義であり、来年以降、より多くの学生が応募し、プログラムが発展していくことを願います。



# 船歌集に使用する映像の募集について 協力をお願い

同窓会事務局長 江崎 隆夫 (S44E)

船歌集編集委員 西山 明 (S50E)

同窓会事務局では本年3月に開催の臨時理事会で承認されました「140周年記念事業」の実施について準備すべく活動をしています。その中で船歌集のDVD製作について、写真・動画の映像提供の協力をお願いします。

船歌集には、校歌、寮歌をはじめ練習船の歌など下表の候補曲を収録する予定です。

又この企画に他の商船学校も協賛されることになり各校のDVDも製作することになりました。

## 鳥羽商船 船歌集 選曲候補一覧

1	鳥羽商船高等専門学校 校歌
2	鳥羽商船高等専門学校 寮歌
3	旧鳥羽商船学校 校歌
4	練習船の歌
5	日本丸船歌
6	タンツォ節
7	日本丸ふな唄
8	海王丸船歌
9	ああ月明は淡くして
10	進徳丸船歌
11	大成丸三十年の歌
12	大成丸世界周航の歌
13	商船学校10ヶ条
14	ダンチョネ節
15	白菊の歌
16	愚連隊の歌
17	ソカヨ節又は ソレホイ節
18	海のロマンス
19	白帆かかげて
20	鳥羽商船応援歌
21	豪気節
22	大成丸帰帆の歌
23	サニ公節 (二)

※左記の鳥羽商船 船歌集の曲目を元にして他校版のDVDを製作します。

本校の校歌・寮歌を他校の校歌・寮歌に入れ替えてを各校別にDVDを製作します。

## 他校の校歌・寮歌

1	富山商船高等専門学校 校歌
2	富山商船高等専門学校 寮歌
3	旧富山商船高等学校 校歌
4	広島商船高等専門学校 校歌
5	広島商船高等専門学校 旧校歌
6	広島商船高等専門学校 寮歌
7	広島商船高校応援歌
8	弓削商船高等専門学校 校歌
9	弓削商船高等専門学校 旧校歌
	弓削商船高等専門学校 寮歌
10	瀬戸内三商船校体育大会の歌

- ・このDVDは、カラオケのように歌詞が字幕で映像と共に見ることができます。
- ・曲の伴奏はエレクトーン伴奏です。
- ・歌は伊勢市のコーラスグループに依頼して収録する予定です。

## 写真等 映像データ提供のお願い

これらの曲に映像をつける場合250～500枚程度の映像を必要と想定していますので皆様のご協力をお願いします。

尚、このお願いは、前もってe-mailで連絡のつく同窓会役員、理事、支部長のほか事務局が選出した方に周知しました。そしてすでに応募していただいておりますが、まだ必要な映像データが集まっておりません。会員の皆様がお持ちの写真やビデオでDVD製作に使用できるものがありましたら提供をお願いします。**応募期限は11月15日**までです。但し、提供していただいた映像は選別してDVD製作に使用しますので、必ずその映像を使用するとは限りません。その点をご承知下さいますようお願いいたします。

**※これら映像の選別等の編集作業にネット等で協力していただける方は申し出てください。  
曲別の担当制にすることを考えています。**

### 映像（写真・動画）提供の方法について注意

注1：他から入手した著作権のついている映像は提供しないでください。

注2：提供する場合氏名、卒業年、科、撮影時状況をわかる範囲で記載ください。

注3：提供する方法は、2つあります。

#### 1. 同窓会事務局にe-mailで提供する方法。⇒ できるだけこの方法をお願いします。

- 写真又はフィルムネガはお近くの写真店でデータ化してください。費用自己負担願います。
- スキャナーをお持ちの方はご自身でデータ化してください。（プリンターにスキャナー機能のついているものがあります）
- 1枚の写真のデータ量は、300dpi～600dpi程度。若しくは1MB程度としてください。
- ビデオ映像は、1分～2分の映像にしてください。データ量は上記を参考にしてください。

データ化したファイルを同窓会事務局のメールアドレス

[info@tobashousen-dousoukai.com](mailto:info@tobashousen-dousoukai.com) に送ってください。

#### 2. 上記1以外の方法。⇒ 同窓会事務局に送付する。

##### ①写真（ネガフィルム）をお近くの写真店で、データ化してください。

費用は個人負担でお願いします。データ化したCDを同窓会事務局に送付していただきます。提出されたCDは、返却必要の有無を明記してください。返却必要の場合は、後日返却します。この場合も撮影時の年月と状況等を別紙に記載して添付をお願いします。

##### ②写真（ネガフィルム）を同窓会事務局に送付していただく場合。

事務室でスキャナーを使いデータ化します。提供された写真等は、返却必要の有無を明記して下さい。返却必要の場合は、後日返却します。この場合も撮影時の年月と状況等を別紙に記載して添付をお願いします。

**※提供された映像の中から事務局が選別してDVDに使用します。提供されても採用しない場合がありますのでこの点ご承知ください。**

※事務局では提供された写真等の映像データをグーグルの共有ドライブに保存しております。これを閲覧したい方はその旨を事務局にメールしてください。閲覧できるURLをお知らせします。パソコンから共有ドライブに保存された写真を見ることができます。右図は共有ドライブの画面の一例となります。



## その他

- ・同窓の合唱団を結成することを検討しています。

コロナ禍の中実現可能かどうか判りませんが同窓の合唱団を結成して、校歌や寮歌など代表曲を合唱し収録したいと考えております。参加を希望される方は、同窓会事務室に連絡をお願いします。



昭和40年頃 正門



昭和30年代 カッター



昭和30年代 カッター



昭和44年頃 鳥羽丸



昭和50年 ホノルル



昭和49年 青雲丸



平成8年頃



昭和40年頃 鳥羽駅

# コロナ禍の母校を支援しよう!!

同窓会会長 菅沼 延之 (S48N)  
同窓会事務局長 江崎 隆夫 (S44E)

## 母校への寄付について

昨年末から世界中に感染拡大したコロナウィルスの影響は、皆様も良くご存じの事と存じます。

母校鳥羽商船におきましても3月の工学科卒業式の参加者を極力制限し今までにない式となりました。そして前期の授業は4月～8月中旬まで遠隔授業となり校内で学生の姿を見かけることも無くなりました。

母校では感染防止対策として寮を個室化する改造工事を急遽実施されました。そして9月4日には、171室の個室化工事が完工し、9月8日に寮生の受け入れ、9月14日から授業再開の予定になっていると聞き及んでおります。この会報が会員の皆様が届くころには、学生たちの明るい声が聞こえるようになってきていると思います。

しかしながら予定外の改造工事などで母校の予算はかなり厳しい状況になってきています。体温測定するための非接触体温計やアルコール消毒液、飛沫防止の資器材の入手予算に苦慮している事です。授業を再開しても、母校から1人の感染者が発生すればたちまち休校の措置を執ることになるでしょう。

このような事から同窓会事務局では、今期の同窓会支出予算で計上している、商船学科卒業祝賀会の負担金10万円、学生課外活動の支援金25万円、特別予算2（OB等の Cutter 大会支援金）15万円の計50万円を母校に寄付することが今なすべき事と考え菅沼会長ほか同窓会三役で協議しました。結果、全員意見の一致を確認しましたので、コロナ感染予防対策に役立てていただけるように寄付をいたしました。会員の皆様のご理解を賜りますようお願いいたします。

## 入学志願者定員割れの防止支援について

平成30年商船学科の入学志願者の定員割れが生じ

たことがありました。林校長から商船学科存続の一大事であると同窓会へこれの対策での支援要請がありました。菅沼会長がこれに応じ平成30年9月に臨時の理事会を名古屋で開催し入学志願者回復の措置について林校長、石田副校長、菅野事務部長から説明を受けました。出席した支部長からも積極的な意見が出され支部長他の協力者がそれぞれ地元の中学校を訪問し母校の紹介パンフレットを持参、PR活動を行いました。本校職員も県内の中学校を主に約200校に及ぶ学校訪問等を行いました。その結果31年度の県内外の志願者は増加し定員割れの事態は解消されました。次ぐ翌年も同様の紹介活動を実施しその成果があり母校の林校長、学生課課長より感謝の言葉をいただいております。

しかしながら本年は、コロナウィルスで年の初めから客船ダイヤモンドプリンセスでの感染に関することが大きく報道されました。これらのような報道が、船員や鳥羽商船高等専門学校に対する心象に影響を及ぼしたのではないかと心配しているところです。これらの事から次年度の入学志願者の激減が危惧されてなりません。本校は商船学科のみならず、情報機械システム工学科もあります。同窓会員の皆様、母校入学志願者が増加するように支援しましょう。皆様のご家族、親戚、知人に今期進学予定のご子息ご息女がおります場合は、是非とも母校の紹介をしていただきますようお願い致します。

例年のように中学校を訪問して母校のPR活動はコロナ感染対策でできない状況であります。母校にとっては、ますます不利な状況で有ります。

来年は創立140周年記念事業を開催いたします。母校が母校で有るために我ら鳥羽商船の同窓の持てる力で母校を応援したいと思います。是非とも皆様のご協力をお願いします。

下記は本校の紹介資料です。皆様の卒業された中



学校又は親戚知人への紹介に使用していただきたいと願います。これらの問い合わせ、資料請求については **学生課入試・支援係 TEL (0599) 25-8404** へ又は同窓会事務室に連絡をお願いします。必要な資料は担当より送付させていただきます。

又別途、紹介のあいさつ文も用意する予定でありますのでご利用いただければ幸いです。

特に中学の先生が現役であるような若い世代の同窓の方には、協力を要請します。また現役、リタイヤされた同窓にも同様の協力をお願いする次第であります。

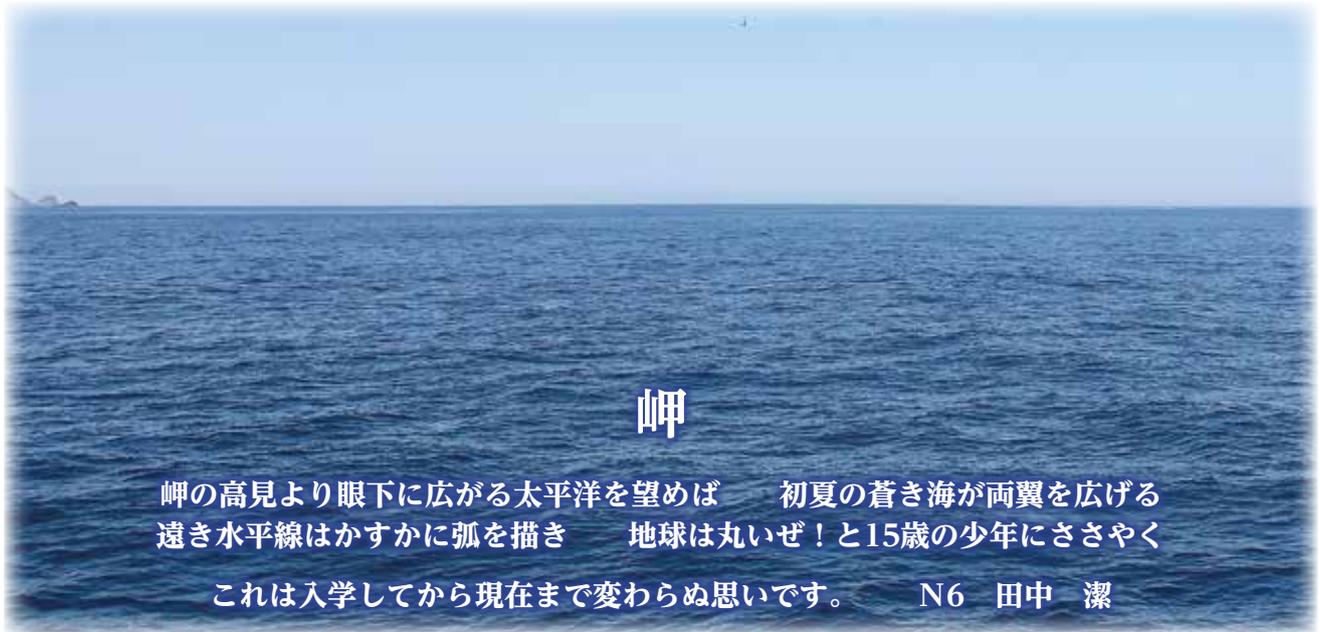


## 今年の海学祭について 海学祭実行委員会

今年の海学祭のテーマは「黎明(れいめい)」です。黎明は、夜明けや新しい物事の始まりを意味します。新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が世界中で大流行し、不安が募るばかりですが、学生全員が協力し合って、新しい時代の始まりが来るまで辛抱強く頑張ろうという意味を込めました。

※今年の海学祭は、オンライン配信を中心としたプログラムが予定されています。校内イベントについては、公開されません。

スポンサー広告募集中



# 岬

岬の高見より眼下に広がる太平洋を望めば 初夏の蒼き海が両翼を広げる  
 遠き水平線はかすかに弧を描き 地球は丸いぜ！と15歳の少年にささやく  
 これは入学してから現在まで変わらぬ思いです。 N6 田中 潔

ホームページ  
 スポンサー  
 募集中!!

## スポンサー広告ご協賛企業

ホームページ・名簿のスポンサーを募集しています。詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。

<p>業務用加湿器のトップメーカー Wetmaster</p>	<p>海産料理 大阪屋鳥羽店</p>	<p>(株)鳥羽ヤンマー S44/E 江崎</p>
<p>iiiムロオ</p>	<p>鳥羽ビューホテル 花真珠 女将 迫間まち(旧姓:山門)</p>	
<p>医療法人友仁会 友仁山崎病院 理事長 堀野 幸三 SS2E 人間ドックで早期発見</p>	<p>外国船籍登録 ノジ マリン</p>	<p>本格コーヒーの香り あなたのオフィスに 090-3258-7902(村田) 35分 新機種の提供</p>
<p>水中高分解処理装置 自動化計装システムエンジニアリング E-T エステック株式会社</p>	<p>自動販売機 ご紹介キャンペーン 株式会社フード・テクニカ S55E 稲垣</p>	

学生募集  
 の  
 PR依頼

少子化の時代を迎え、義務教育以外の学校は皆、学生の確保に躍起になっています。特に大学は学生の全入学時代に突入し、一段と厳しさを増しています。将来に向け予断は許されず、学校としても学生募集のPRに励んでいます。つきましては、より優秀な学生に入学していただくため同総会員の御協力を仰ぎたい所存です。学校に御連絡いただければ、A2版ポスター・学校案内冊子・学生募集要項をお送りしますので、下記宛に御連絡いただけますよう、よろしくお願い致します。

独立行政法人 国立高等専門学校機構 **鳥羽商船高等専門学校**

〒517-8501 三重県鳥羽市池上町1-1 電話(0599)25-8404  
 ホームページアドレス <http://www.toba-cmt.ac.jp/> E-mai [gakusei-nyushi@toba-cmt.ac.jp](mailto:gakusei-nyushi@toba-cmt.ac.jp)

◎書類請求(無料)は本校の学生課入試・支援係へ

同窓会ホームページ <http://tobashousen-dousoukai.com>

